

令和2年度
静岡県商店街実態調査報告書

静岡県経済産業部商工業局地域産業課

令和3年3月

はじめに

商店街は、住民生活に必要な商品やサービスを提供するだけでなく、コミュニティの場としても機能しており、地域にとって重要な役割を果たしています。

一方で、後継者不足による空き店舗の増加や、EC（通信販売）サイトの台頭に加え、一昨年には、消費税率が引き上げられるなど、近年の商店街を取り巻く環境は厳しい状況となっています。また、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行は、飲食店をはじめ、様々な業種の店舗に客数の大幅な減少等の影響を与え、商店街としても、イベント等による集客のあり方を再考せざるを得なくなるなど、規模の大小を問わず、大きな打撃となっています。

本報告書は、県内の商店街の現状や実態、課題を把握し、商店街支援や活性化施策の基礎資料とすることを目的に実施した「商店街実態調査」の結果をまとめたものです。

県としては、調査結果を今後の施策検討に活かすとともに、本報告書が商店街関係者の皆様や、商工団体、関係行政機関など、各方面で幅広く活用され、今後の商店街活動について考えるきっかけや、商店街活性化策の参考となれば幸いです。

今回の調査の実施にあたり、御協力いただきました商店街関係者の皆様に対しまして厚く御礼申し上げますとともに、商店街名簿作成等に際し、御協力いただいた市町、商工団体の皆様にも深く感謝申し上げます。

令和3年3月

静岡県経済産業部商工業局地域産業課

目次

I. 商店街実態調査の概要

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. 調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3. 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4. 調査結果に関する留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5. 回収結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II. 調査結果

1. 商店街の概要について

- 1-1 商店街の組織形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 1-2 商店街における理事長・会長の年齢及び在職年数・・・・・・ 6
- 1-3 商店街の店舗数、会員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2. 商店街を取り巻く環境について（商店街の景況と近年の変化）

- 2-1 商店街がある商業立地環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2-2 商店街の状況（新型コロナウイルス感染症流行前まで）・・・・・・ 8
- 2-3 商店街の来街者（新型コロナウイルス感染症流行前まで）・・・・ 9
- 2-4 商店街の来街者数の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2-5 商店街における賃貸物件の賃貸料の相場変化・・・・・・・・・・ 10

3. 商店街の問題について

- 商店街において問題となっているもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

4. 商店街における空き店舗に関する問題について

- 空き店舗問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

5. 商店街における活動について

- 5-1 商店街組織の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 5-2 商店街における組合員（会員）同士の連携・協力関係・・・・・・ 18
- 5-3 商店街組織の今後の活動の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 5-4 商店街におけるホームページの開設状況・・・・・・・・・・・・ 19
- 5-5 商店街におけるネットショッピングへの対応・・・・・・・・・・・・ 20
- 5-6 インバウンド需要を取り込むために実施している取組・・・・・・ 20
- 5-7 特に効果があった事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

6. キャッシュレス決済について

- 商店街でのキャッシュレス決済の導入状況について・・・・・・・・ 22

7. 消費税制に関することについて

- 7-1 消費税率の改正による影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 7-2 適格請求書等保存方式（インボイス制度）について・・・・・・・・ 27

8. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

- 8-1 商店街の状況（新型コロナウイルス感染症流行後）・・・・・・・・ 28
- 8-2 商店街の来街者（新型コロナウイルス感染症流行後）・・・・・・・・ 28
- 8-3 新型コロナウイルスの感染拡大による影響・・・・・・・・・・・・ 30
- 8-4 新型コロナウイルス対策として実施している取組・・・・・・・・ 31
- 8-5 集客や売上拡大のために実施したい取組・・・・・・・・・・・・ 32

巻末資料：静岡県商店街実態調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

I. 商店街実態調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、県内の商店街を取り巻く環境の変化について、平成30年度に実施した調査との比較により時系列で捉えるとともに、現状や実態、課題を把握し、商店街支援や活性化施策の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

調査対象	県内に所在する商店街※ (商店街振興組合、事業協同組合、任意団体)
調査方法	郵送による発送・回収
調査時点	令和2年9月1日時点
調査票発送数	328団体
回答数及び回答率	回答数：172団体 回答率：52.4%

※本調査でいう「商店街」とは①小売業、サービス業等を営む者の店舗等が主体となって街区を形成し、②これらは何らかの組織（〇〇商店街振興組合、〇〇商店会等）を形成しているものをいいます。

3. 調査項目

- (1) 商店街の概要について
- (2) 商店街を取り巻く環境について
- (3) 商店街の問題について
- (4) 商店街における空き店舗問題について
- (5) 商店街における活動について
- (6) キャッシュレス決済について
- (7) 消費税制に関することについて
- (8) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について 等

4. 調査結果に関する留意事項

回答比率は小数点第二位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100とはなりません。また、回答比率の母数は設問に回答した商店街数としているため、複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100を超える場合があります。

5. 回収結果

市町村別発送・回収結果							
市町村	調査票発送数	調査票回収数	回収率	市町村	調査票発送数	調査票回収数	回収率
静岡市	55	40	72.7%	下田市	17	7	41.2%
浜松市	88	32	36.4%	裾野市	4	1	25.0%
沼津市	13	9	69.2%	湖西市	3	3	100.0%
熱海市	20	11	55.0%	伊豆市	1	0	0.0%
三島市	15	10	66.7%	菊川市	3	3	100.0%
富士宮市	6	5	83.3%	伊豆の国市	2	0	0.0%
伊東市	9	3	33.3%	牧之原市	4	4	100.0%
島田市	9	5	55.6%	東伊豆町	9	3	33.3%
富士市	13	6	46.2%	河津町	1	0	0.0%
磐田市	8	6	75.0%	南伊豆町	1	1	100.0%
焼津市	5	3	60.0%	松崎町	1	0	0.0%
掛川市	7	4	57.1%	函南町	1	1	100.0%
藤枝市	16	8	50.0%	長泉町	1	0	0.0%
御殿場市	11	4	36.4%	小山町	5	3	60.0%
				全体	328	172	52.4%

II. 調査結果

1. 商店街の概要について

商店街における理事長・会長の年齢については、「70歳代以上」と回答した団体が36.2%と最も多く、在職年数については、「10年以上」と回答した団体が25.5%と最も多い結果となりました。

チェーン店舗数の割合は前回よりも1.4ポイント減少し、6.6%となり、チェーン店舗を営む組合員数は前回よりも5.7ポイント減少し、4.3%となりました。

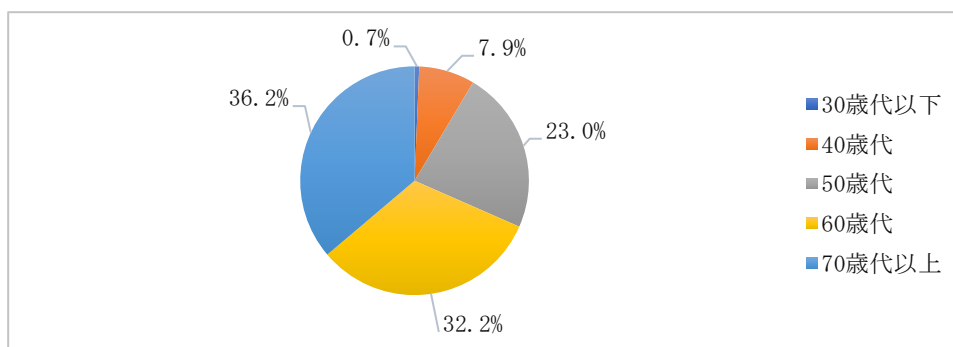
1-1 商店街の組織形態

組織形態

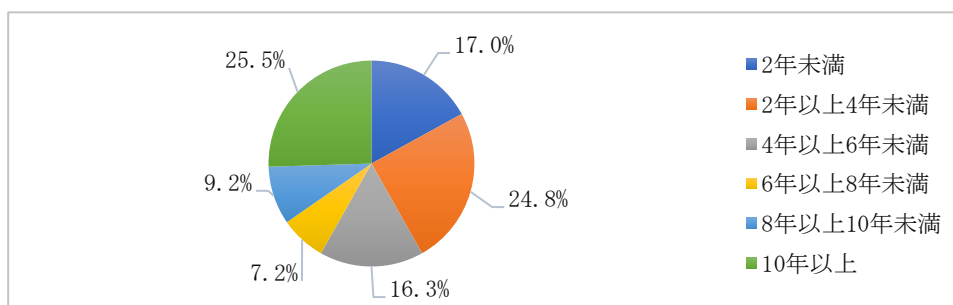
回答者数：172団体（回答率52.4%）		
	回答者数	割合
商店街振興組合	45	26.2%
事業協同組合	6	3.5%
任意団体	99	57.6%
解散した団体	6	3.5%
無回答	16	9.3%

1-2 商店街における理事長・会長の年齢及び在職年数

(1) 年齢 [回答数：152]



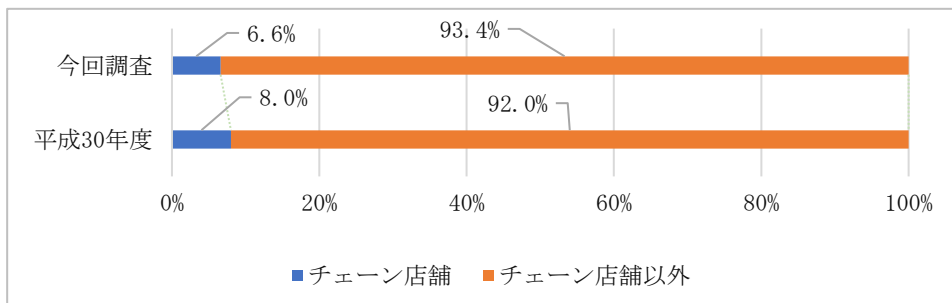
(2) 在職年数 [回答数：153]



1-3 商店街の店舗数、会員数

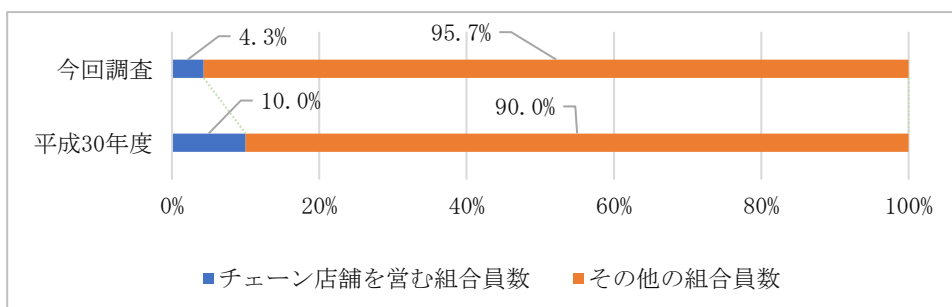
(1) 商店街全体の店舗数（商店街組合員以外の店舗も含む）〔回答数：154〕

	商店街の店舗数	うち、チェーン店舗数	割合
今回調査	5,798店	384店	6.6%
平成30年度	3,522店	282店	8.0%



(2) 商店街組織〔回答数：151〕

	組合員（会員）数	うち、チェーン店舗を営む組合員数	割合
今回調査	5,368人	233人	4.3%
平成30年度	3,271人	326人	10.0%



※「チェーン店舗」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で統一的に管理された店舗とします。コンビニエンスストアのほか、ファーストフード店、ドラッグストア等が該当します。

2. 商店街を取り巻く環境について（商店街の景況と近年の変化）

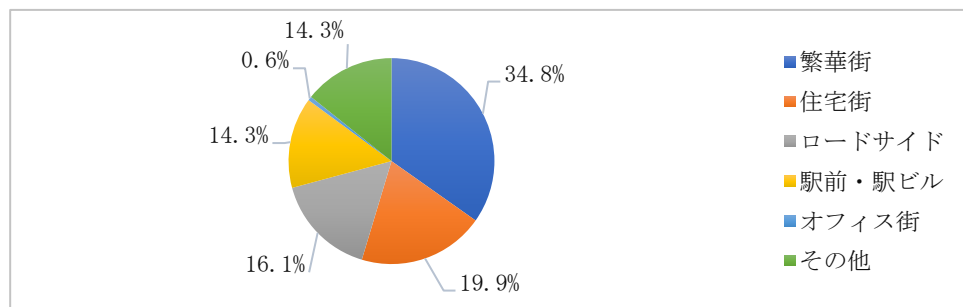
前回調査から新型コロナウイルス感染症流行前までの期間において、「衰退している」と回答した団体は39.1%と、4.6ポイント増加した一方で、「繁栄している」と回答した団体は3.1%と、1.3ポイント増加しました。

最も多い来街者の客層を「高齢者」と選択した団体が45.3%と、前回調査より15.3ポイント増加しました。

来街者については「減った」と回答した団体が74.1%と、前回調査より15.0ポイント増加しており、引き続き来街者は減少傾向にあります。

2-1 商店街がある商業立地環境

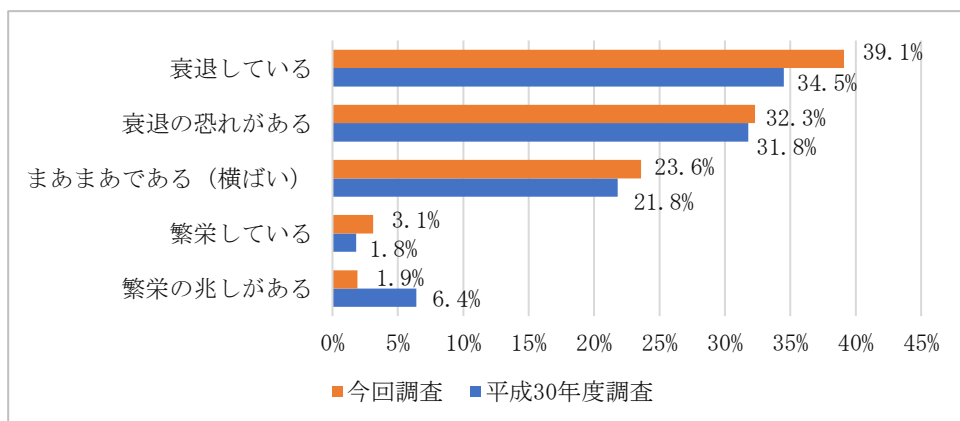
商業立地環境 [回答数：161]



※「ロードサイド」：交通量の多い幹線道路・バイパス沿いのことを指します。

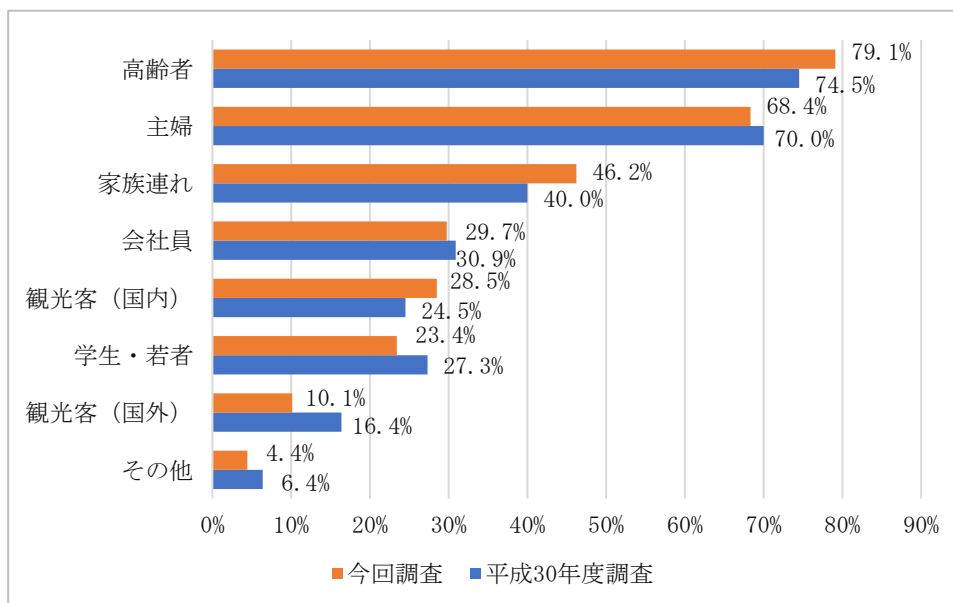
2-2 商店街の状況（新型コロナウイルス感染症流行前（2019年12月）まで）

商店街の状況 [回答数：161]

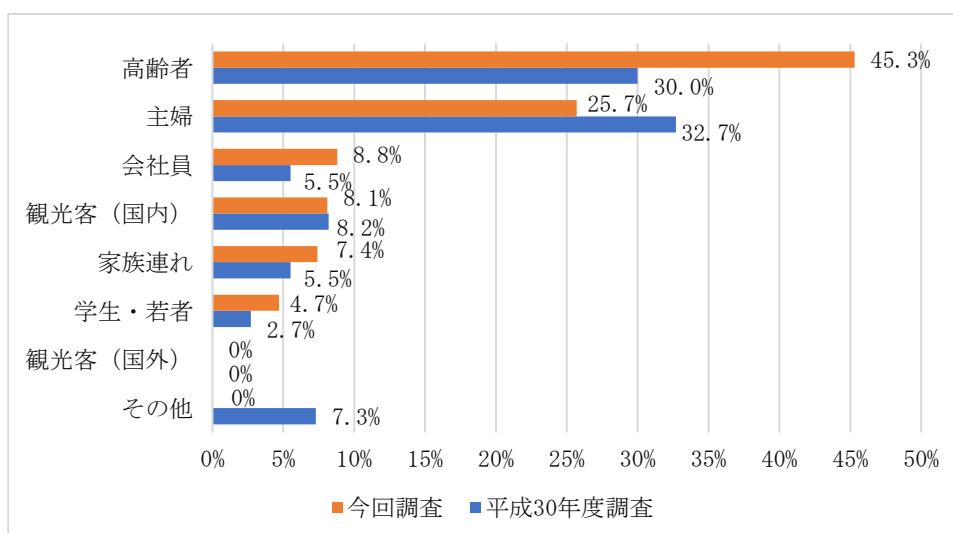


2-3 商店街の来街者(新型コロナウイルス感染症流行前(2019年12月)まで)

(1) 客層(複数回答)[回答数:158]

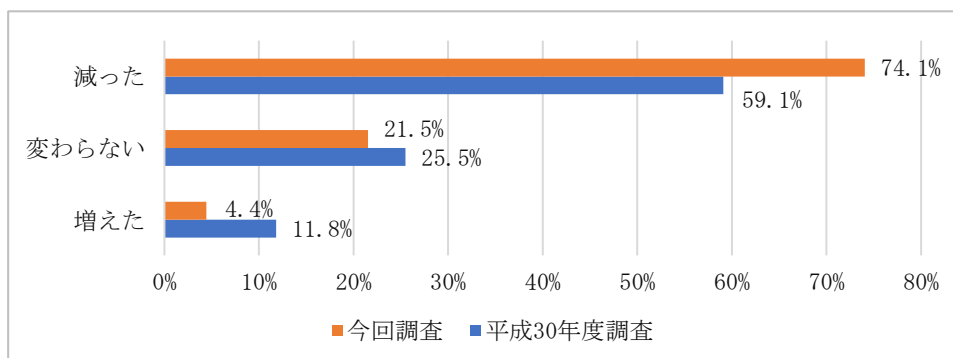


(2) 来街者のうち、最も多い客層 [回答数:148]

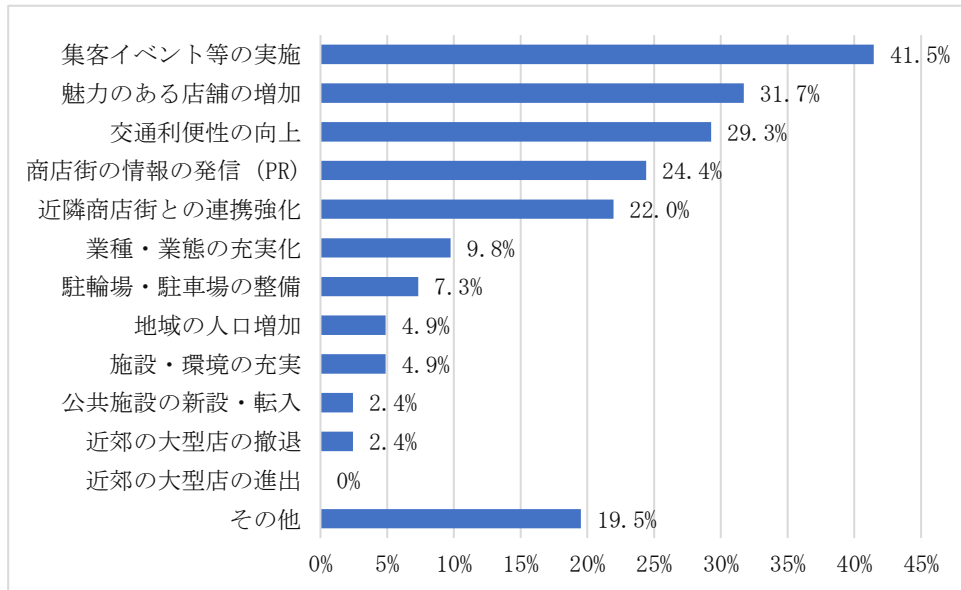


2-4 商店街の来街者数の変化

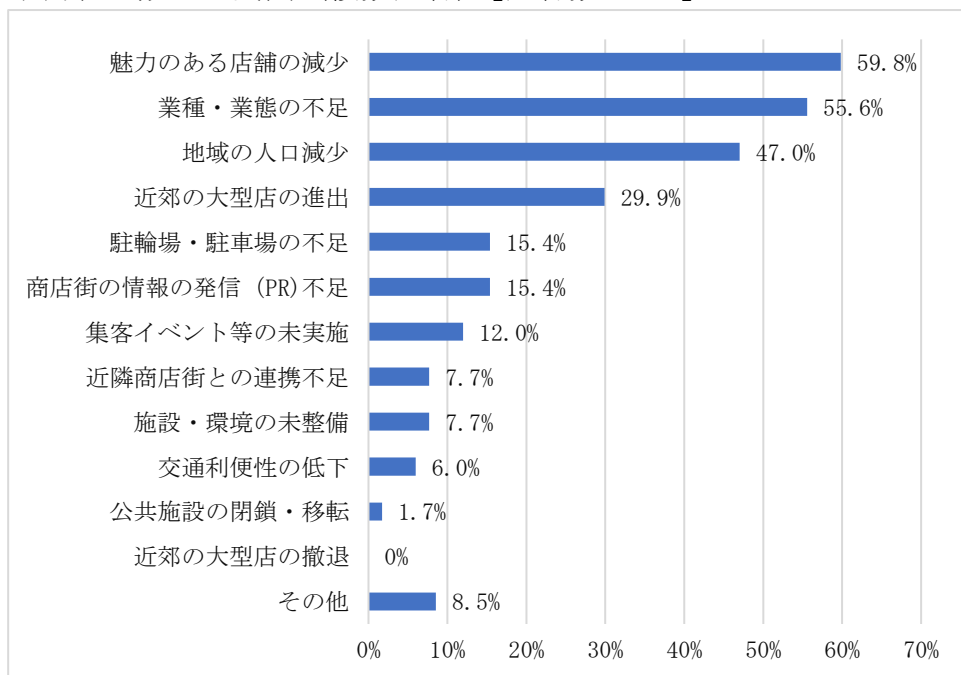
(1) 直近3年間における来街者数の変化 [回答数:158]



(2) (1) で「増えた」「変わらない」を選択した回答者に対する設問
 来街者を維持できた、あるいは増えた要因（複数回答） [回答数：41]

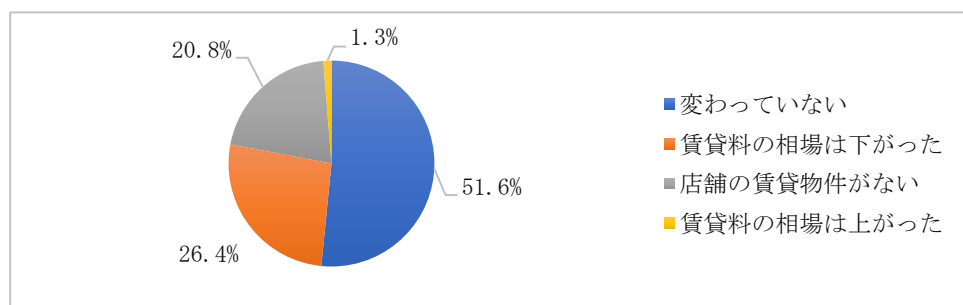


(3) (1) で「減った」を選択した回答者に対する設問
 来街者が減った要因（複数回答） [回答数：117]



2-5 商店街における賃貸物件の賃貸料の相場変化

過去3年間の賃貸料の相場の変化 [回答数：159]



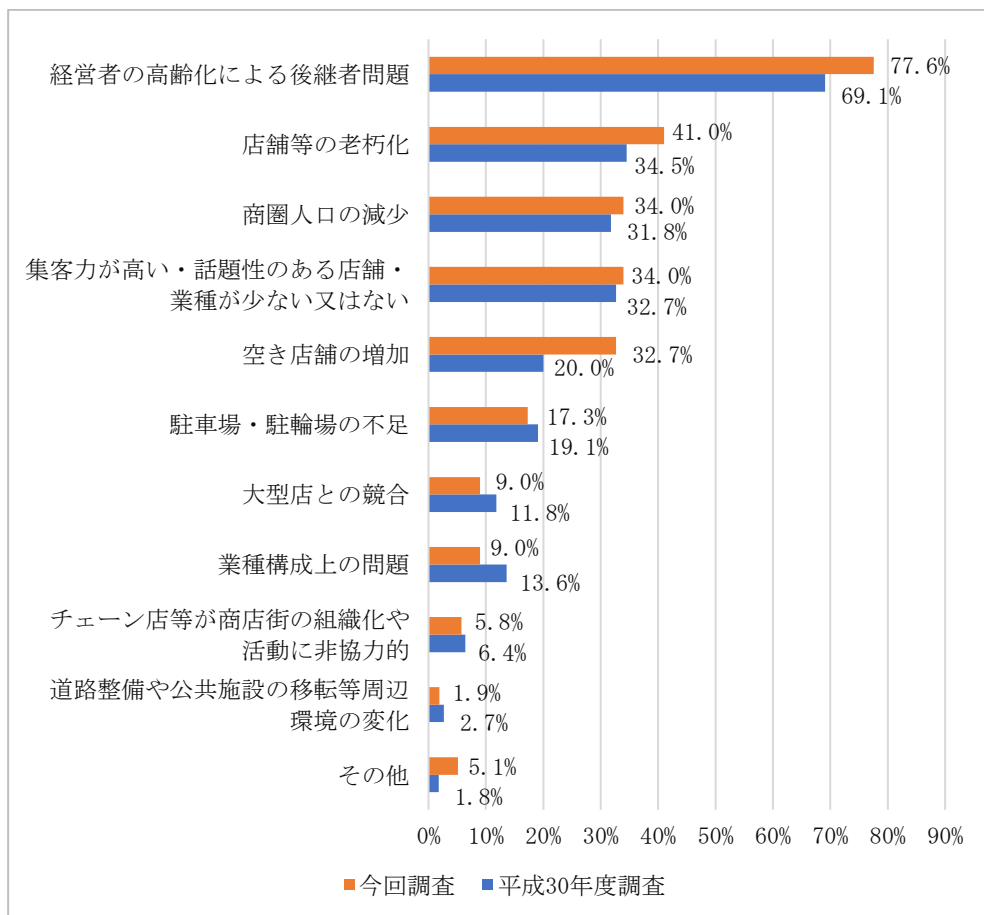
3. 商店街の問題について

商店街において最も大きな問題となっているものは、前回調査と同様、「経営者の高齢化による後継者問題」という結果で、前回よりも8.5ポイント増加し、77.6%でした。

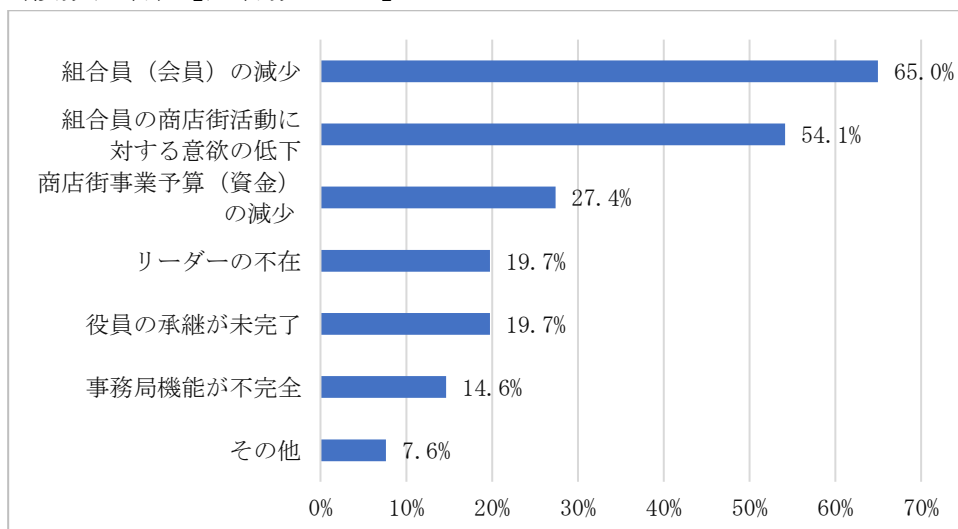
しかし、後継者問題について対策を講じている団体は3.2%と、少ないことが分かりました。

商店街において問題となっているもの

(1) 問題となっているもの（複数回答） [回答数：152]

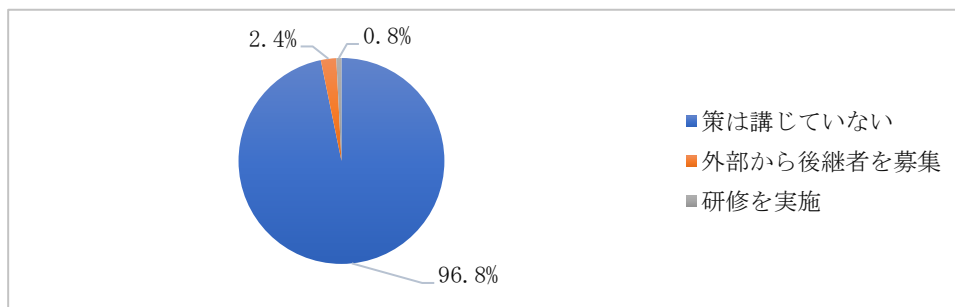


(2) 組織内部に係る項目の中で、最も大きな問題となっているもの（複数回答） [回答数：157]



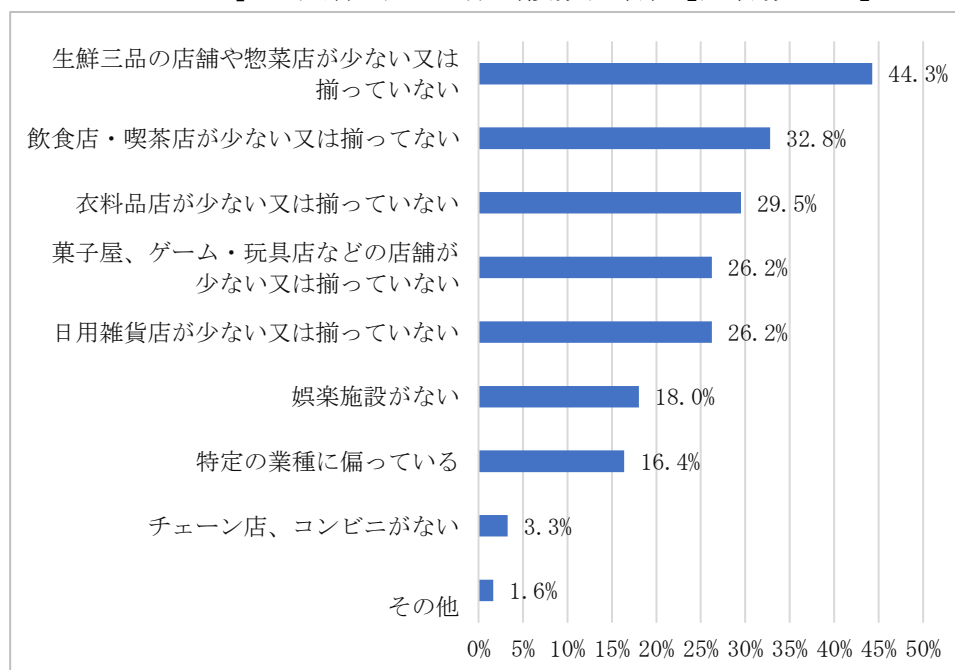
(3) (1) で「経営者の高齢化による後継者問題」を選択した回答者に対する設問

後継者問題について、講じている対策 [回答数：124]



(4) (1) で「業種構成上の問題」「集客力が高い・話題性のある店舗・業種が少ない又ははない」を選択した回答者に対する設問

「業種構成上の問題」、「集客力が高い・話題性のある店舗・業種が少ない又ははない」の具体的な内容（複数回答） [回答数：61]



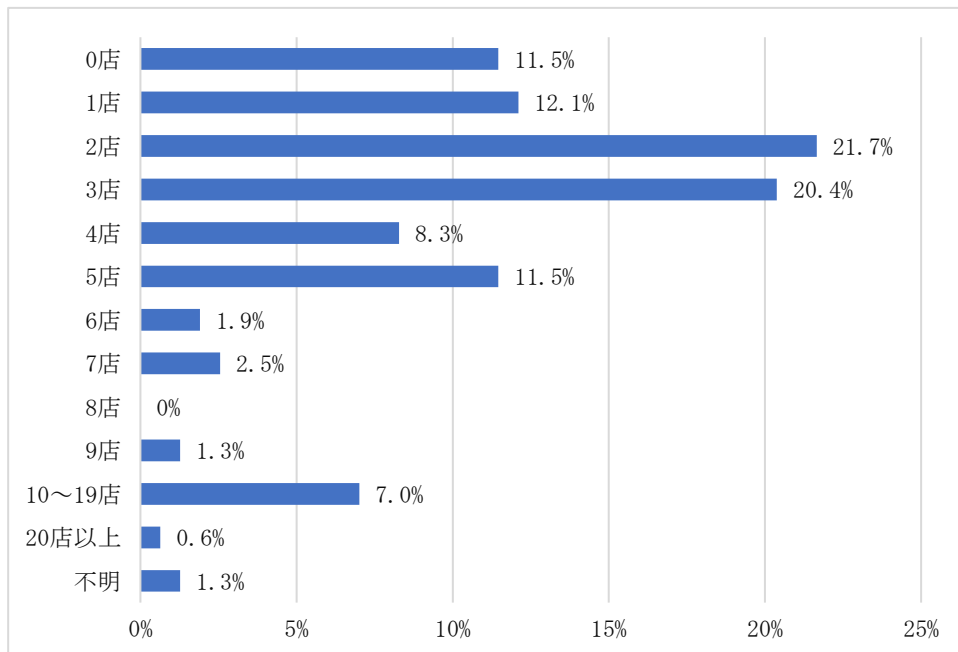
4. 商店街における空き店舗に関する問題について

1 商店街あたりの空き店舗の数は平均で4.12店でした。また、全体の空き店舗率は11.9%となりました。

退店（廃業）の理由として、前回の調査結果同様、「店主の高齢化・後継者不在」が79.7%と、圧倒的に多く、「その他」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店街も見受けられました。

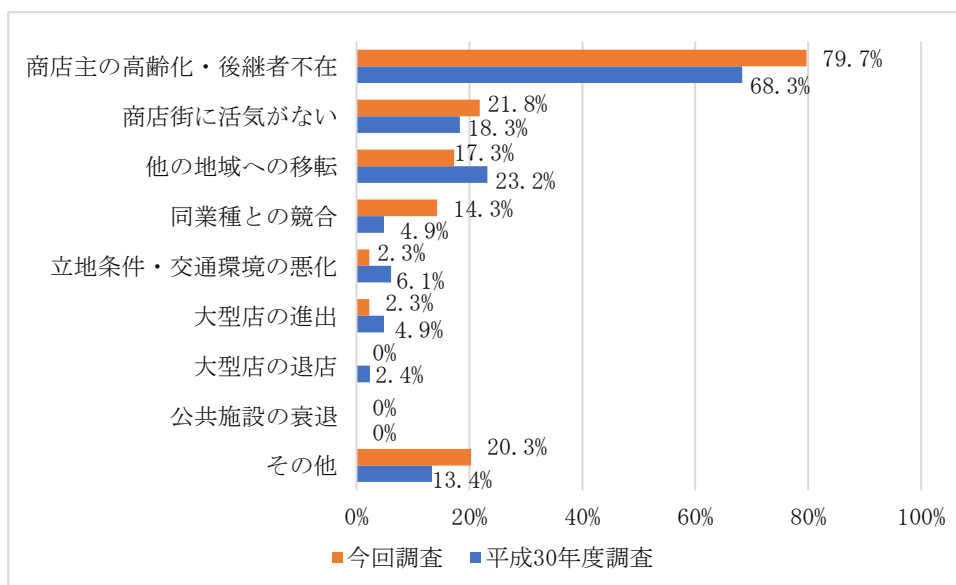
空き店舗問題について

(1) 過去3年間に新たに退店（廃業）した店舗数 [回答数：157]

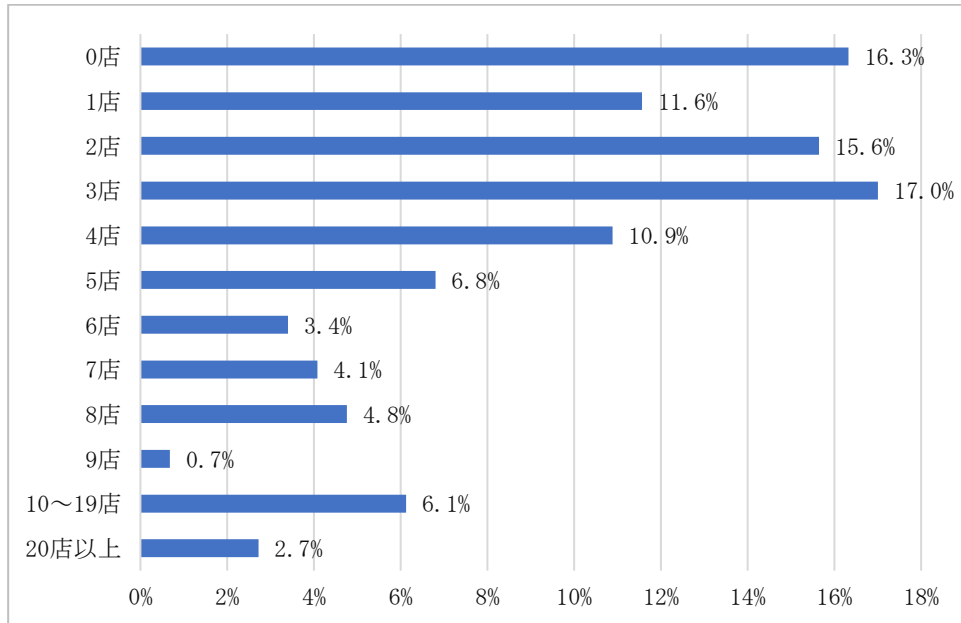


(2) (1) で1店舗以上と記入した回答者に対する設問

退店（廃業）した主な理由（複数回答） [回答数：133]



(3) 現在の空き店舗数 [回答数：147]



※ここでいう「空き店舗」とは、以前店舗として利用されていたが、現在は店舗として利用されていない建物で、内外装を施す程度で、商店として利用できるものとして扱います。既に建物が取り壊され、駐車場や空き地となっているものは除きます。

※平均空き店舗数：4.12店

調査票 問10(3) に具体的な数を回答した商店街を対象

(空き店舗数の合計/回答商店街数) = (605店舗/147団体)

空き店舗率：11.9%

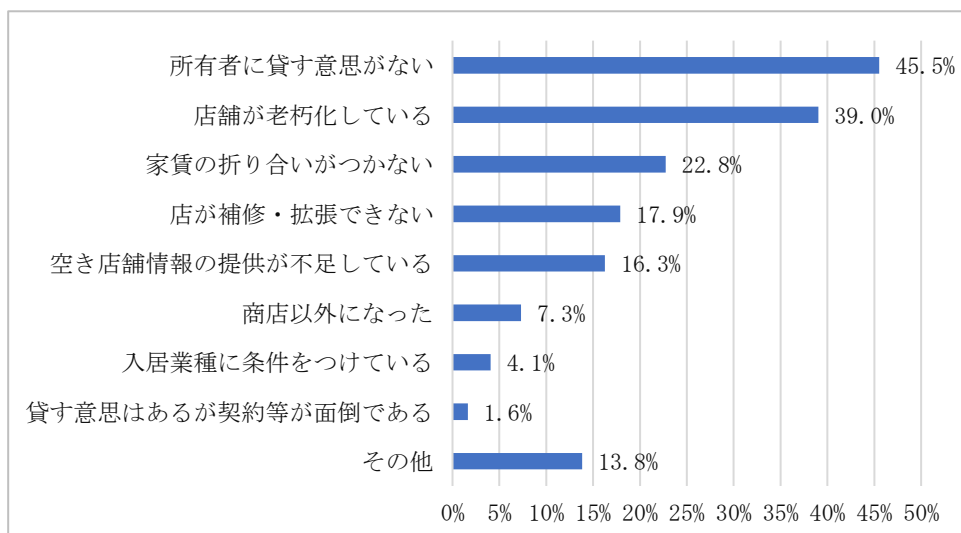
調査票 問3(1) 及び問10(3) の両設問に具体的な数を回答した商店街のみを対象

(空き店舗数の合計/全店舗数の合計) = (580店舗/4,887店舗)

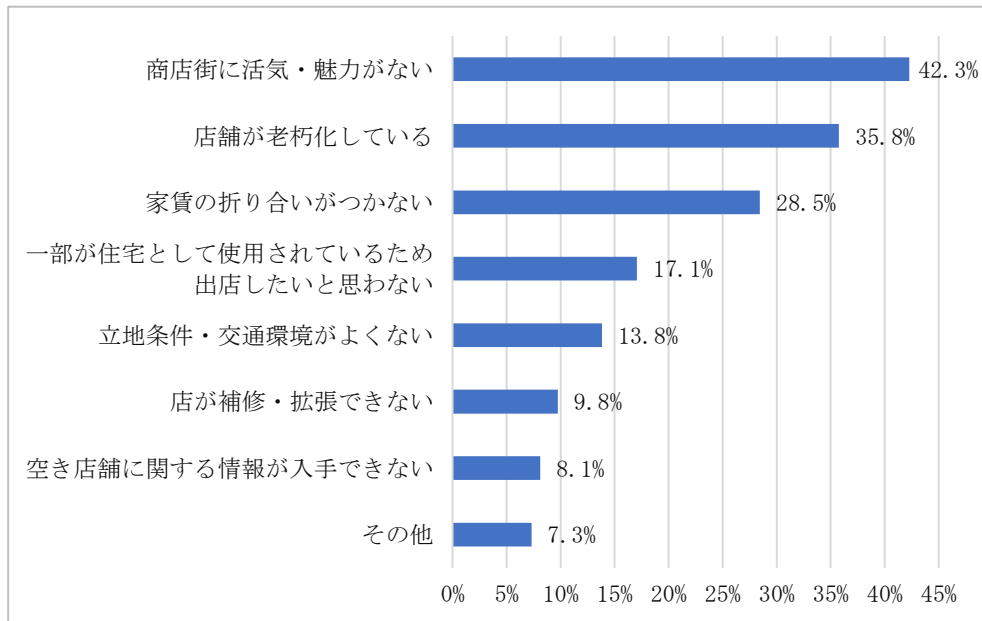
(4) (3) で1店以上と記入した回答者に対する設問

空き店舗が埋まらない理由

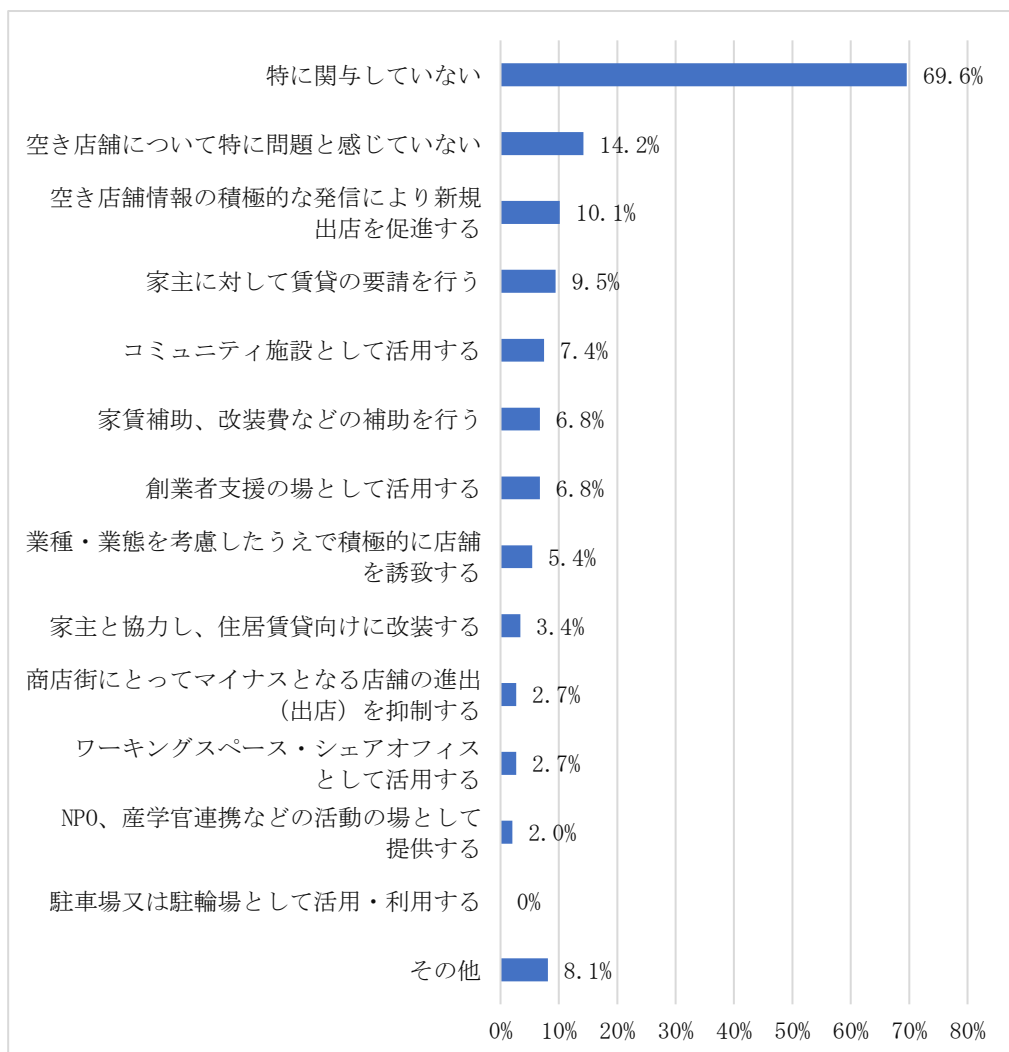
①地主や家主等、貸し手側の都合による理由 (複数回答) [回答数：123]



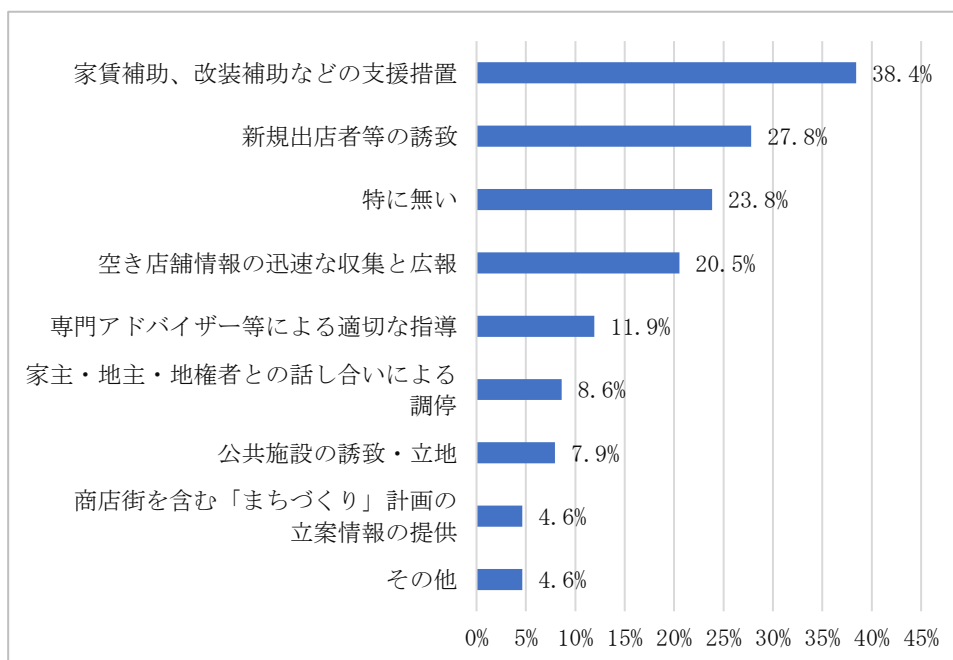
②テナント等、借り手側の都合による理由（複数回答） [回答数：123]



(5) 空き店舗の発生に対して、行っている又は行ってみたい取組
（複数回答） [回答数：148]



(6) 空き店舗問題に取り組む際に必要だと思われる行政等の支援
(複数回答) [回答数: 151]



5. 商店街における活動について

商店街の組合員同士の連携・協力については、「良好である」「どちらかと言えば良好である」と回答した団体が合計で80.5%と、多くの団体で良好な関係性を築くことができていることがわかりました。

また、今後の方向性としては、「現状維持に努めたい」とする団体が62.9%と、最も多い結果となりました。

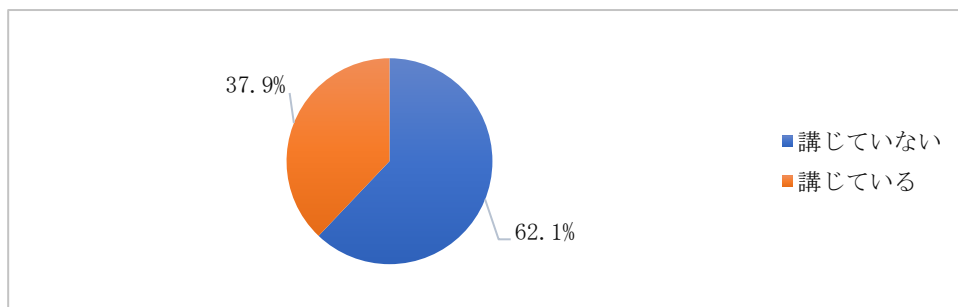
ホームページを所有している商店街は21.9%と、少ない結果となりました。また、所有していても、更新頻度は「2～3ヵ月に1回程度」という団体が25.7%と、最も多く、あまり更新はされていないことが伺えます。

新型コロナウイルス感染症の影響で需要が増加しているネットショッピングについては、対応している店舗がないと回答した団体が32.9%と最も多く、商店街においては対応が進んでいないことが伺えました。

インバウンド需要を取り込むために実施している取組については、「キャッシュレス決済端末の導入」と回答した団体が59.8%と、最も多い結果となりました。

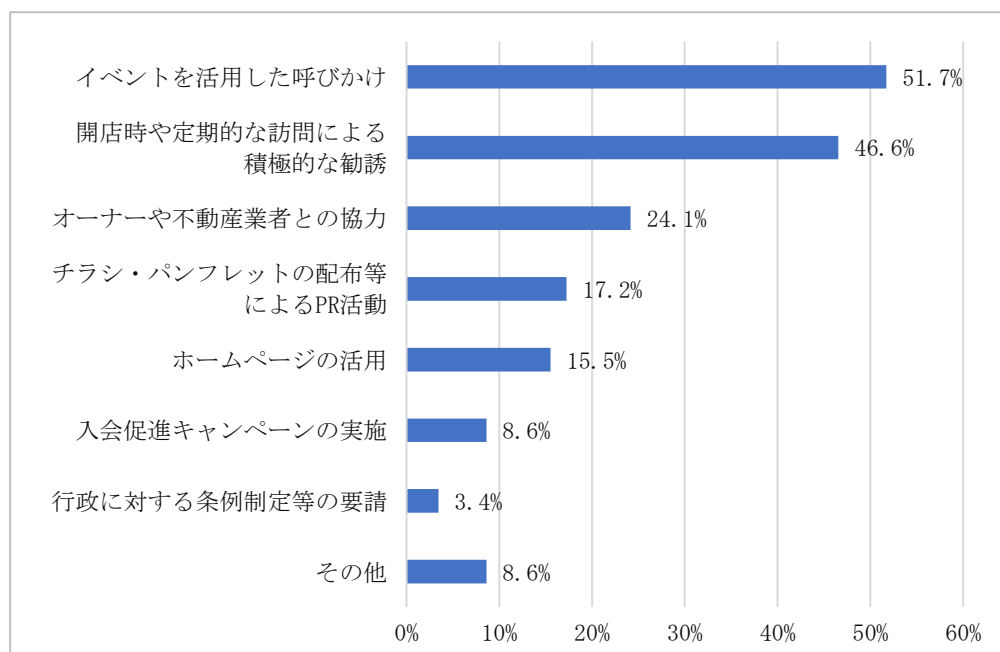
5-1 商店街組織の活動

(1) 商店街の加入を促進するための対策 [回答数：153]

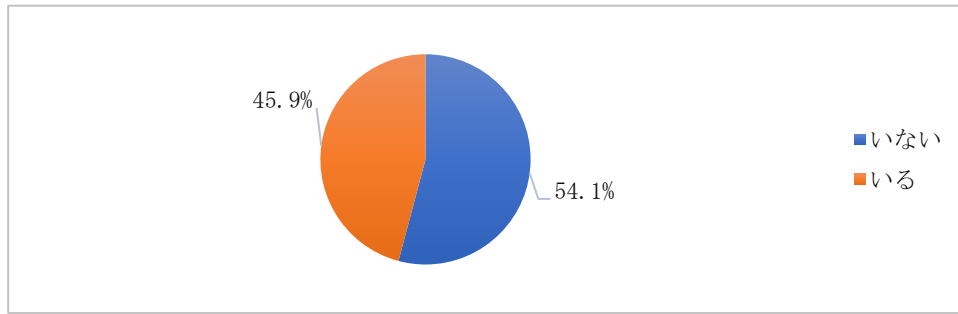


(2) (1) で「講じている」を選択した回答者に対する設問

加入促進のための具体的な活動内容（複数回答） [回答数：58]

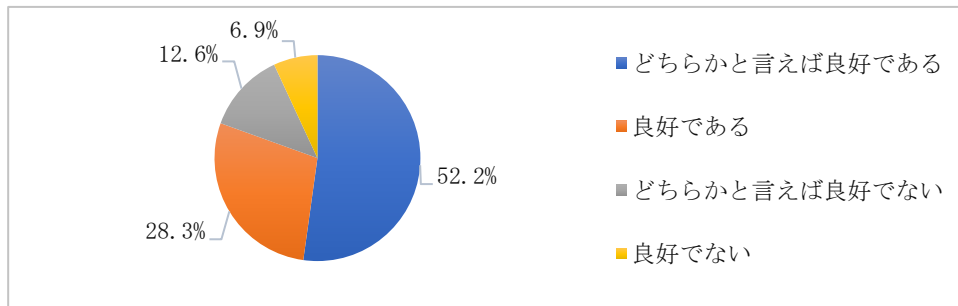


(3) 次世代のリーダー（又はその候補となる人）の有無 [回答数：114]



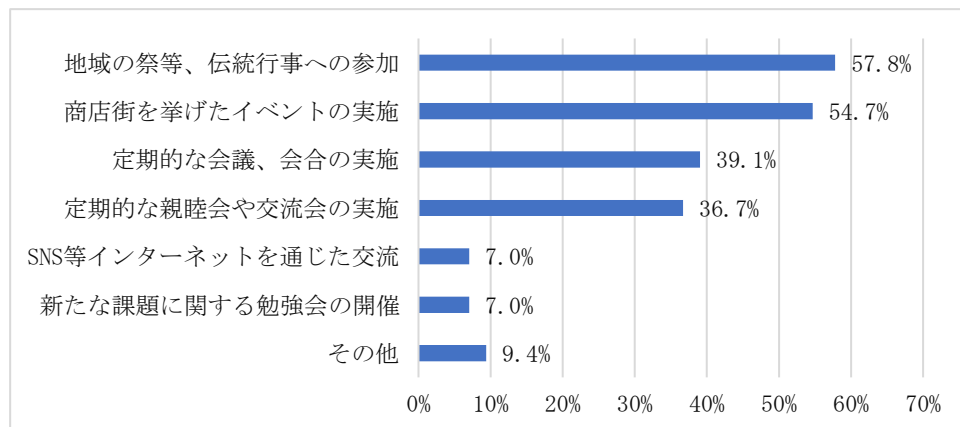
5-2 商店街における組合員（会員）同士の連携・協力関係

(1) 組合員（会員）同士の連携・協力状況 [回答数：159]



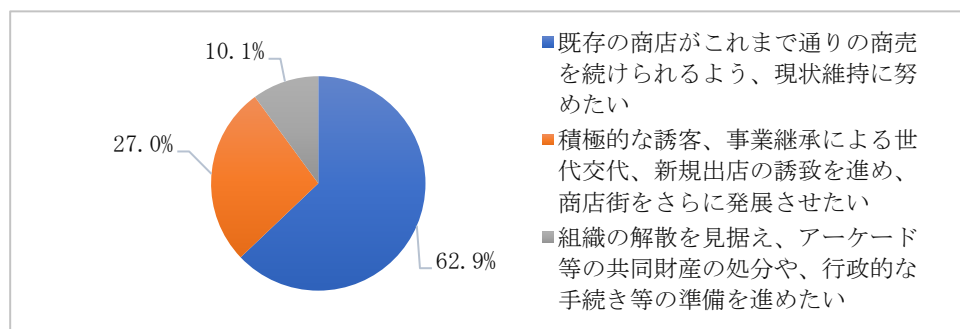
(2) (1) で「良好である」「どちらかと言えば良好である」を選択した回答者に対する設問

組合員（会員）同士の連携・協力を深めるのに役立っている活動（複数回答） [回答数：128]



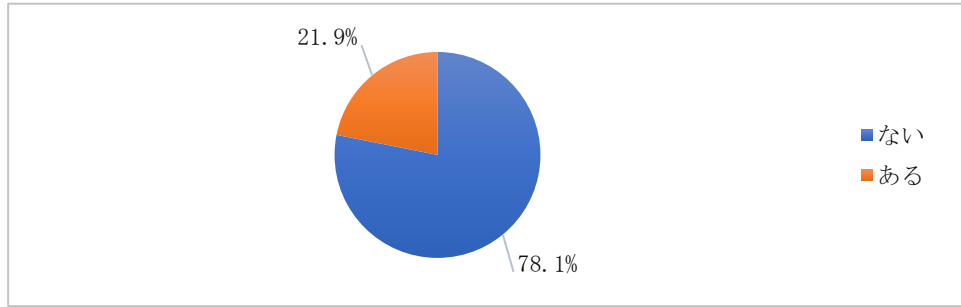
5-3 商店街組織の今後の活動の方向性

今後の活動の方向性 [回答数：159]



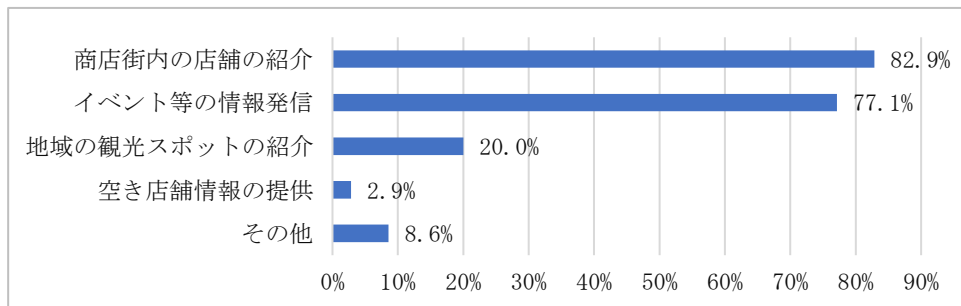
5-4 商店街におけるホームページの開設状況

(1) 商店街としての独自のホームページの有無 [回答数：160]



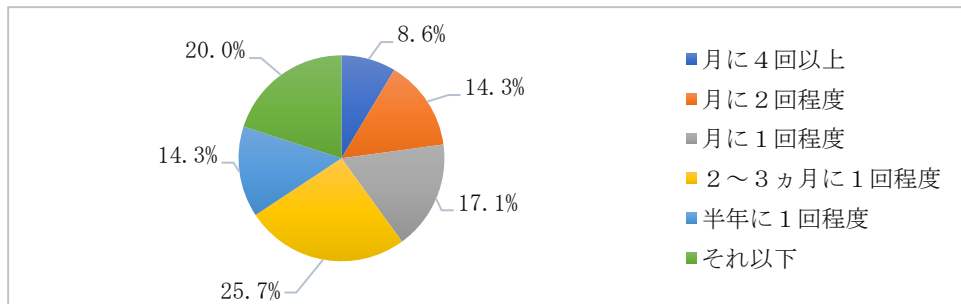
(2) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

ホームページの掲載内容（複数回答） [回答数：35]



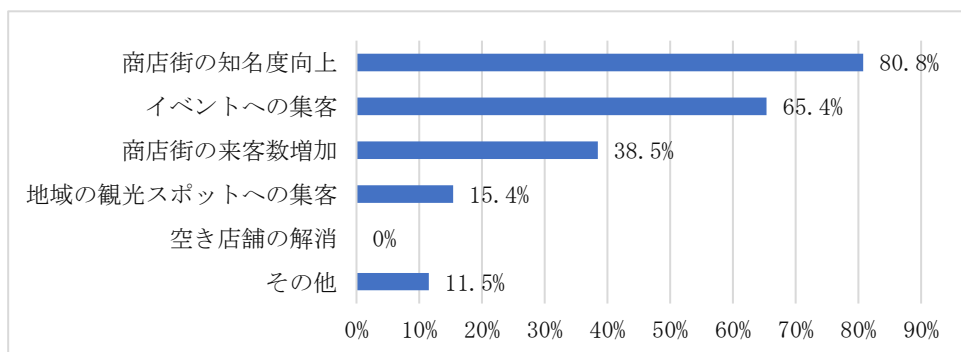
(3) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

ホームページの更新頻度 [回答数：35]

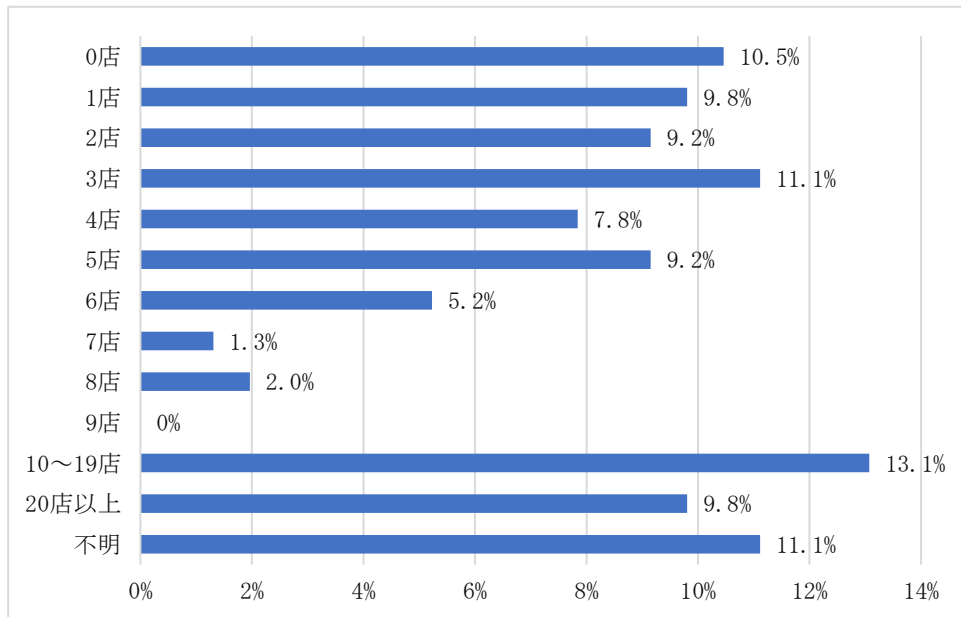


(4) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

ホームページの開設による効果（複数回答） [回答数：26]

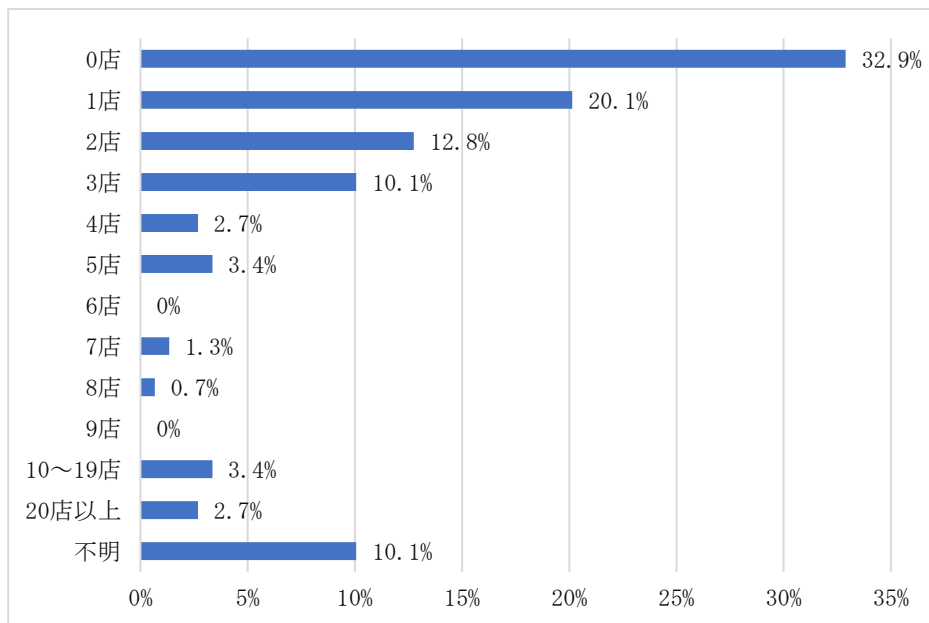


(5) 店舗として独自のホームページを開設している店舗数 [回答数：153]



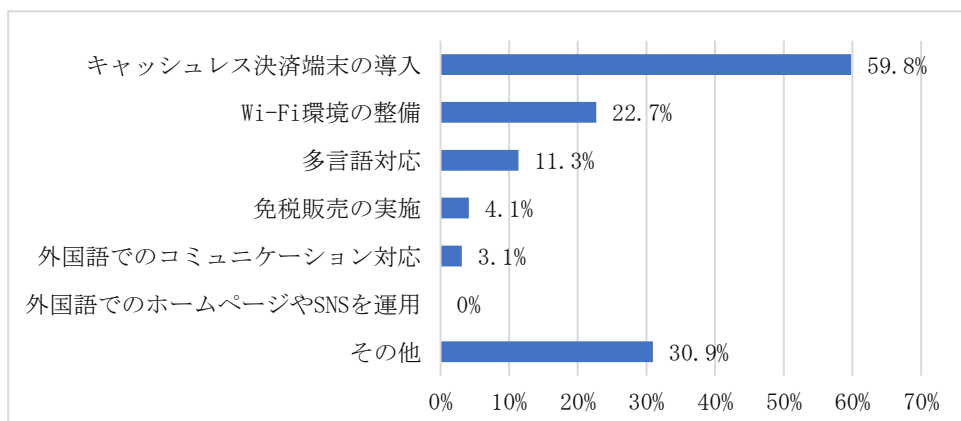
5-5 商店街におけるネットショッピングへの対応

ネットショッピングに対応している店舗数 [回答数：149]



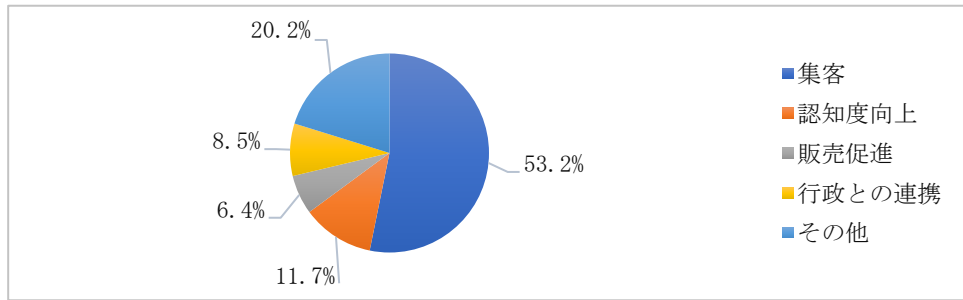
5-6 インバウンド需要を取り込むために実施している取組

実施している取組（複数回答） [回答数：97]



5-7 特に効果があった事業

これまで取り組んだ事業のうち、特に効果があったもの [回答数：82]



具体的な取組内容と効果

集客	
【取組内容】	年金支給日の年6回に合わせて、割引券がついた新聞折込チラシを配布
【効果】	各店舗での客数及び売上げが増加
【取組内容】	月1回、向かいの商店街と共に、歩道上でフリーマーケットを開催（平均60店舗が出店）
【効果】	来客及び出店者に好評。地元商店に目立ってプラスはないが、毎月恒例のイベントとして受け入れられている
【取組内容】	HP、Twitter、Instagram、LINEの連携情報発信
【効果】	地元・外来者共に好評
【取組内容】	商店街以外の組織が商店街を利用して開催するイベント
【効果】	普段来ない客層が来街し、PRできた
認知度向上	
【取組内容】	空き店舗へのリノベーションスクール出身者の誘致
【効果】	リノベーションスクール出身者が空き店舗に入り、新たなイベントが始まり、さらなる空き店舗対策になるとともに、商店街の認知度も高まっている
【取組内容】	商工店会のイベントや町内会の祭典とコラボしてのイベントを年4~5回行う
【効果】	商店街の知名度を上げる役割を果たした
販売促進	
【取組内容】	商店街ポイントカードのICカード化
【効果】	顧客の利用状況を把握できるようになり、販促活動に利用できるようになった
行政との連携	
【取組内容】	市と協力し、廃止された路上パーキングスペースに休憩所を設置（自由に休憩、飲食が可能）
【効果】	土日は家族連れやカップルで賑わっている
その他	
【取組内容】	朝一回の清掃活動
【効果】	地域の方との交流を増やすことができた

6. キャッシュレス決済について

商店街におけるキャッシュレス決済導入率は39.0%でした。キャッシュレス決済を導入している店舗が「ある」と回答した団体は88.2%と、前回調査よりも42.7ポイント増加しました。

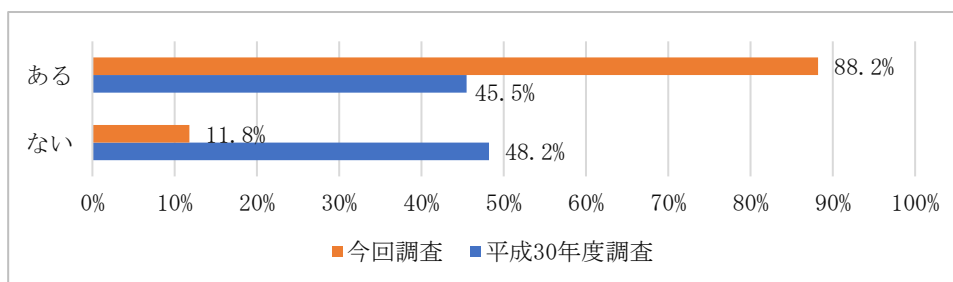
導入しているキャッシュレス決済は「QRコードを用いたもの」が87.0%で最も多く、「クレジットカード」(79.7%)、「電子マネー」(38.2%)という結果になりました。

キャッシュレス決済を導入した効果としては、「現金を扱わず、新型コロナウイルス感染症対策として有効」と回答した団体が35.8%と、最も多い結果となりました。

その反面、現在未導入の店舗が導入しない理由としては、「端末等の使い方に不安がある」が55.2%、次いで「導入する手続きが面倒である」が51.7%となりました。

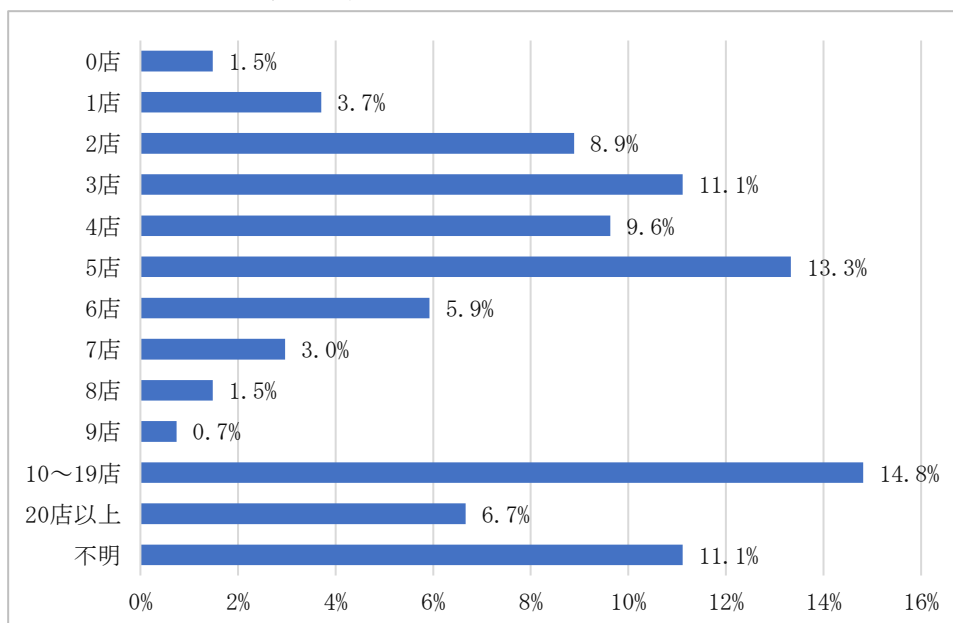
商店街でのキャッシュレス決済の導入状況について

(1) キャッシュレス決済を導入している店舗の有無 [回答数：153]



(2) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

キャッシュレス決済を導入している店舗数 [回答数：135]



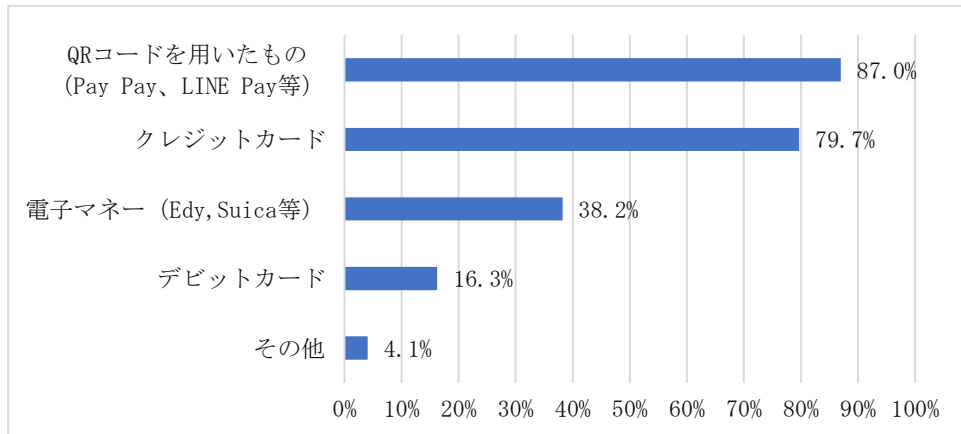
※キャッシュレス決済導入率：39.0%

調査票 問3 (1) 及び問15 (2) の両設問に具体的な数を回答した商店街のみを対象
(キャッシュレス決済導入店舗数の合計 / 全店舗数の合計)

= (1,652店舗 / 4,233店舗)

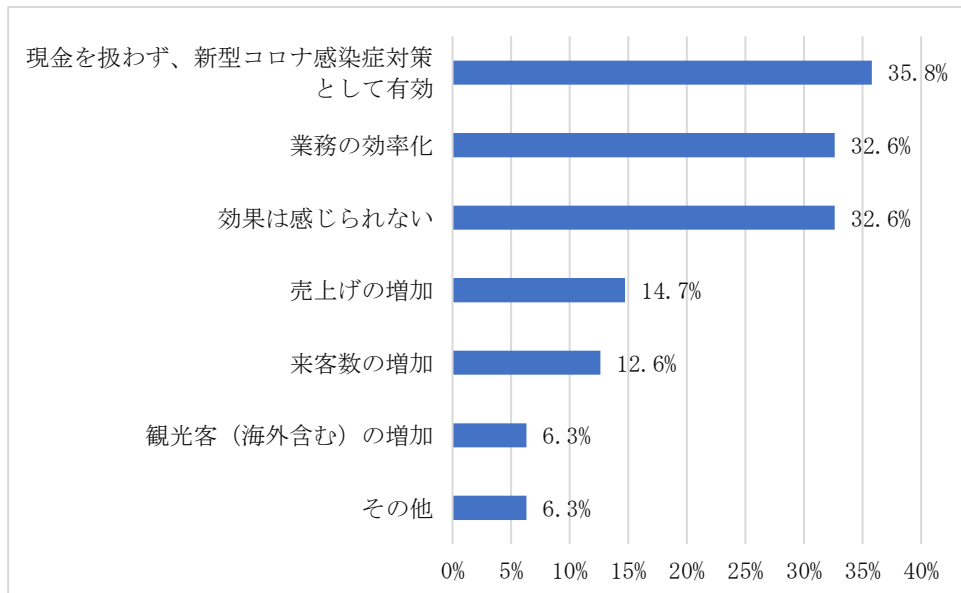
(3) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

導入しているサービスの種類（複数回答） [回答数：123]

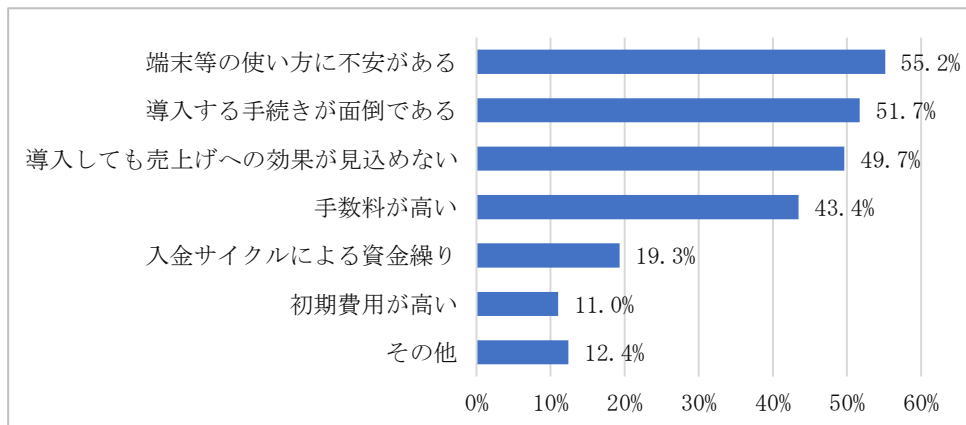


(4) (1) で「ある」を選択した回答者に対する設問

キャッシュレス決済を導入したことによる効果（複数回答） [回答数：123]



(5) 現在、キャッシュレス決済を導入していない店舗が、導入しない理由（複数回答） [回答数：145]



7. 消費税制に関することについて

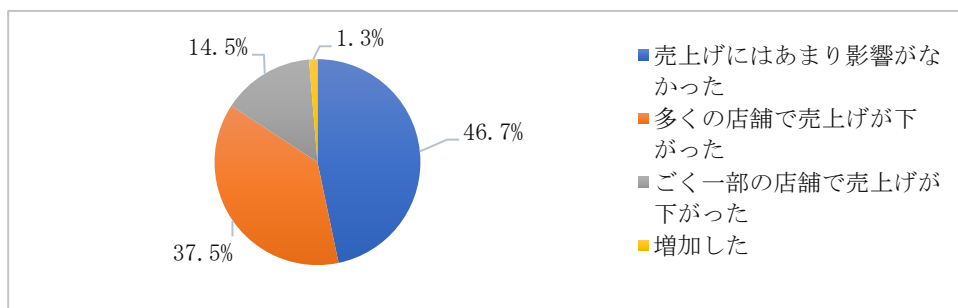
消費税率の改正による商店街の売上げへの影響については、「あまり影響がなかった」という回答が46.7%と、最も多い結果となりました。その要因として、「消費者との関係が強く、買い控えや顧客離れが起きにくかったから」という理由が69.0%と目立ちました。

インボイス制度については64.5%と、多くの団体で内容の把握ができておらず、「必要な対応が分からない」という団体が66.0%、次いで「行政や商工団体等からの支援が必要である」と回答した団体が27.3%となりました。

7-1 消費税率の改正による影響

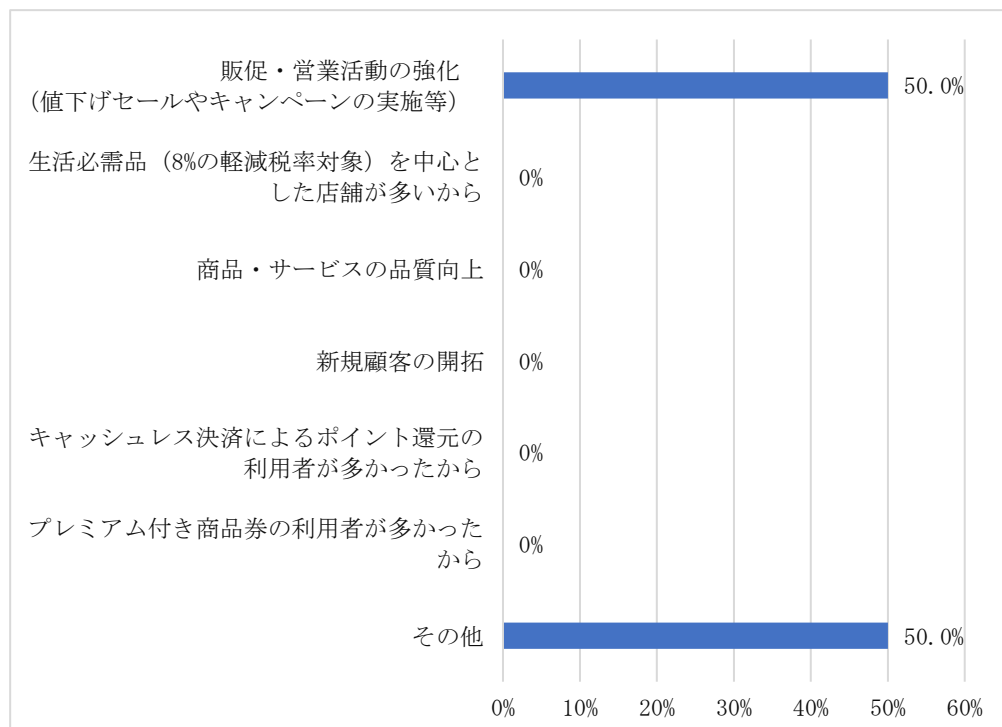
令和元年10月に行われた消費税率の改正（8%→10%）が、令和元年10月から令和2年2月までの期間で、商店街に与えた影響について

(1) 消費税率の改正が商店街の売上げに与えた影響 [回答数：152]



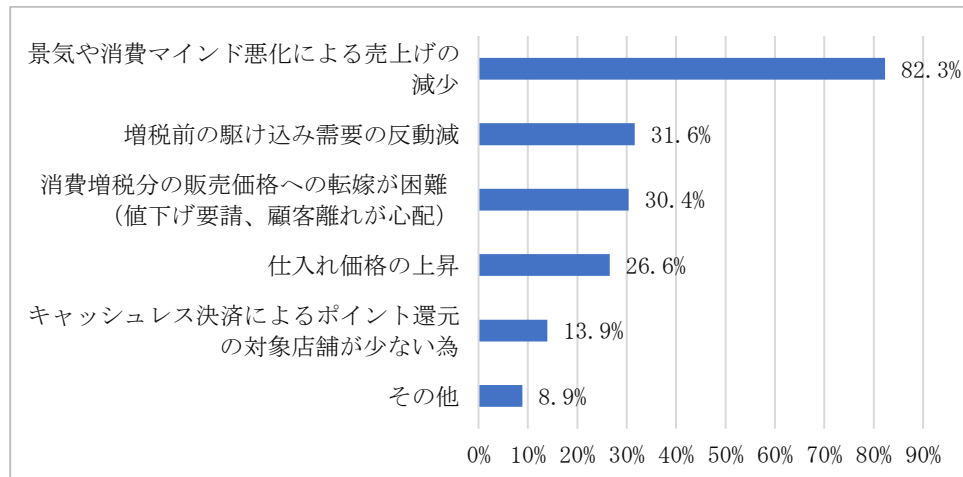
(2) (1) で「増加した」を選択した回答者に対する設問

売上げが増加した理由（複数回答） [回答数：2]



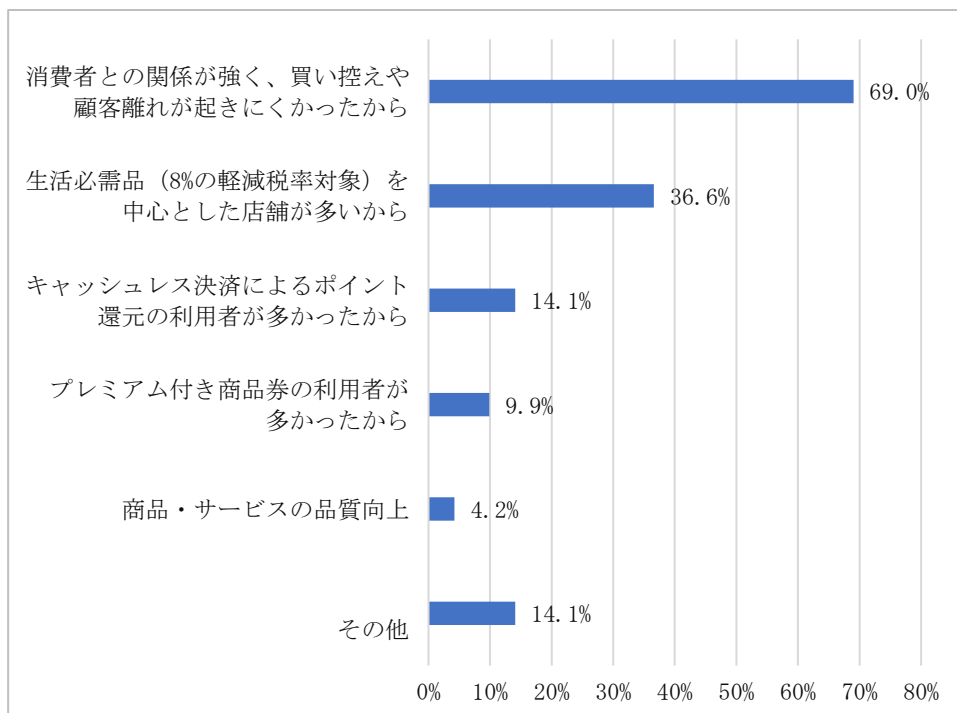
(3) (1) で「多くの店舗で売上げが下がった」「ごく一部の店舗で売上げが下がった」を選択した回答者に対する設問

売上げが下がった理由（複数回答） [回答数：79]

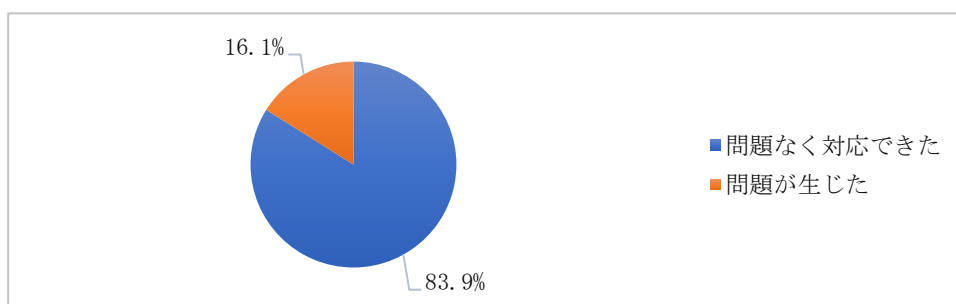


(4) (1) で「売上げにはあまり影響がなかった」を選択した回答者に対する設問

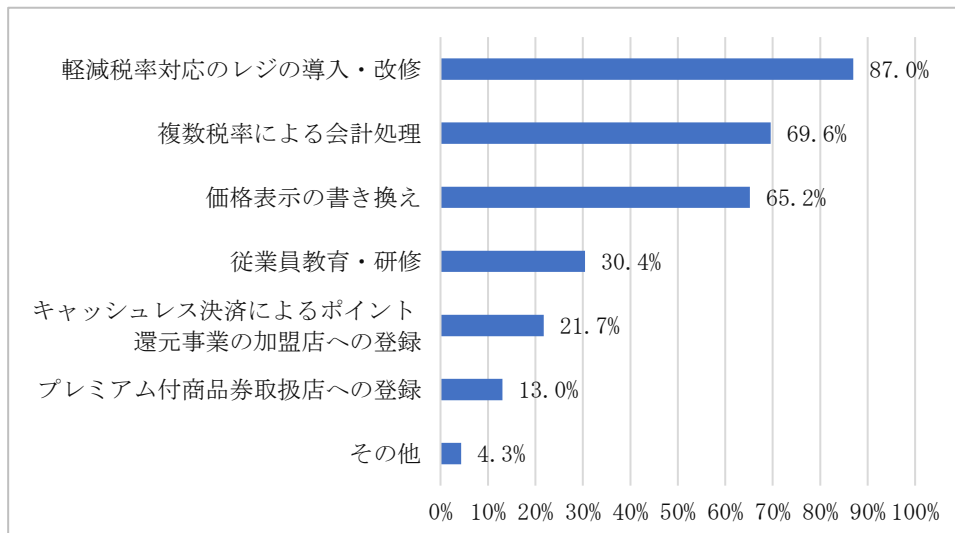
売上げにあまり影響がなかった理由（複数回答） [回答数：71]



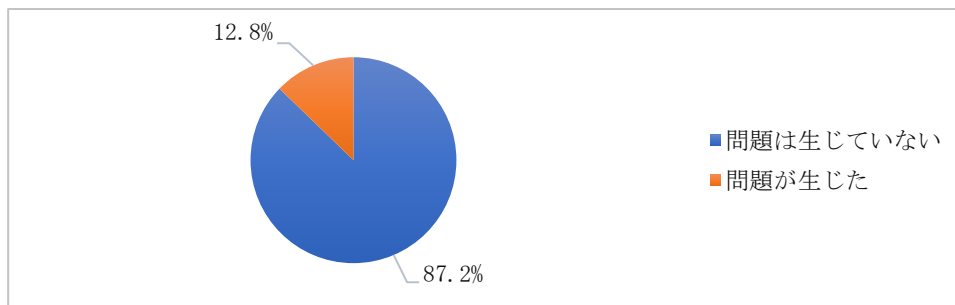
(5) 今回の消費税制の改正（軽減税率導入）に伴う事前対応について [回答数：143]



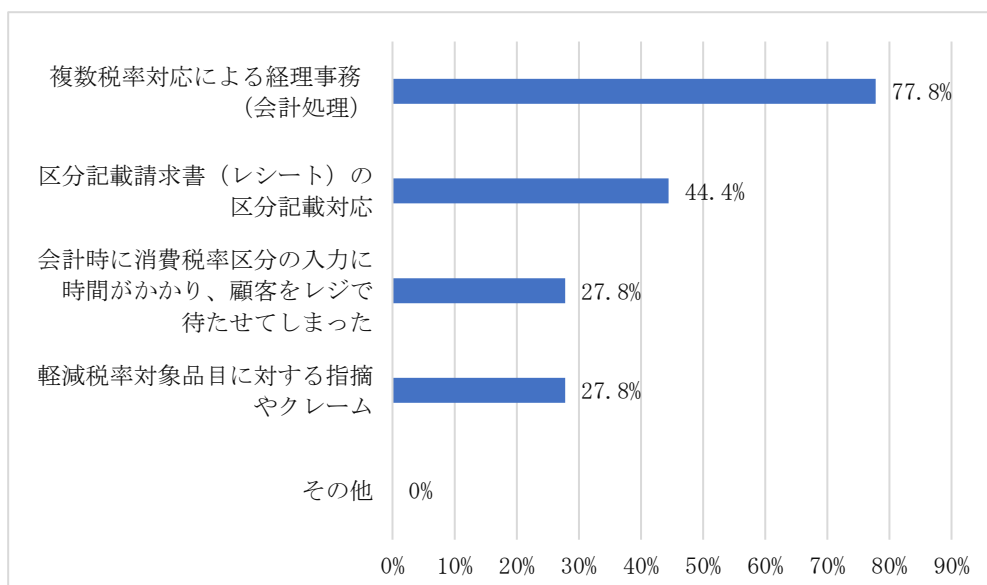
(6) (5) で「問題が生じた」を選択した回答者に対する設問
問題が生じた原因（複数回答） [回答数：23]



(7) 消費税の改正（軽減税率導入）後に生じた問題の有無 [回答数：141]



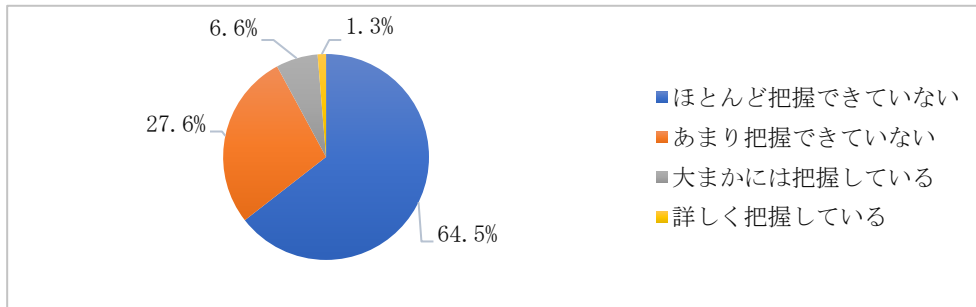
(8) (7) で「問題が生じた」を選択した回答者に対する設問
生じた問題の内容（複数回答） [回答数：18]



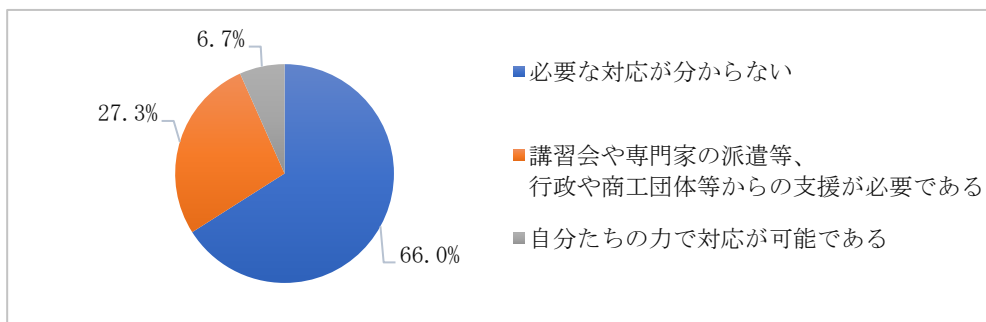
7-2 適格請求書等保存方式（インボイス制度）について

令和5年に導入が予定されている、適格請求書等保存方式（インボイス制度）について

(1) 制度の変化や手続きについての理解度 [回答数：152]



(2) インボイス制度への対応 [回答数：150]



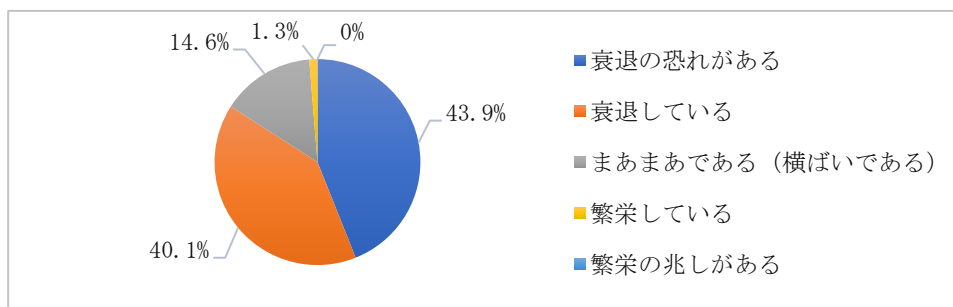
8. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

感染拡大により「経営に影響が生じている」又は「今後、影響が出る懸念がある」と回答した団体は91.0%に上りました。

一方で、今後商店街で集客や売上げ拡大のために新しく取り組みたいものとして、「イベントの実施」が51.2%、次いで「国のGoToキャンペーンへの参加」が43.0%という結果になりました。

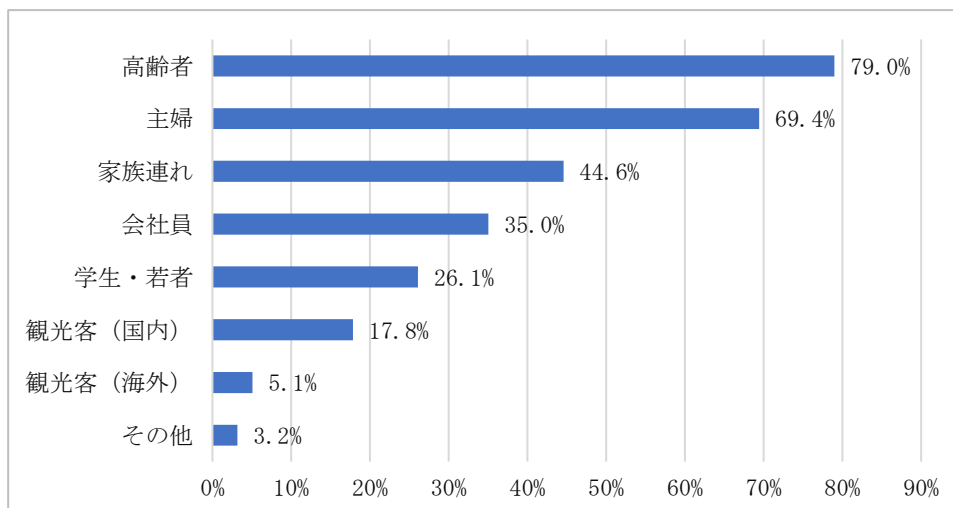
8-1 商店街の状況（新型コロナウイルス感染症流行後（2020年1月）から現在まで）

(1) 商店街の状況 [回答数：157]

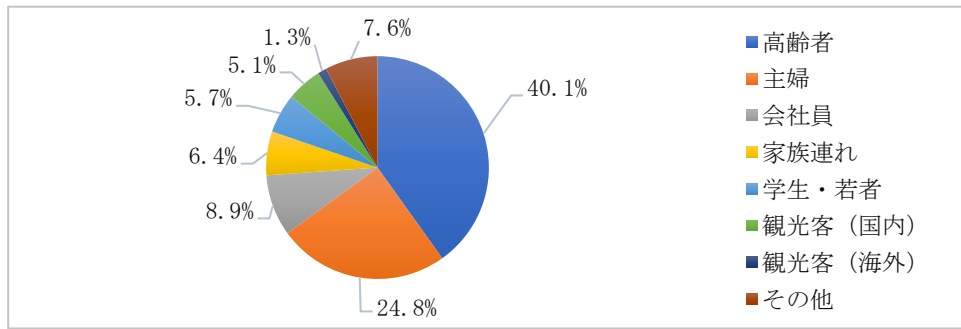


8-2 商店街の来街者（新型コロナウイルス感染症流行後（2020年1月）から現在まで）について

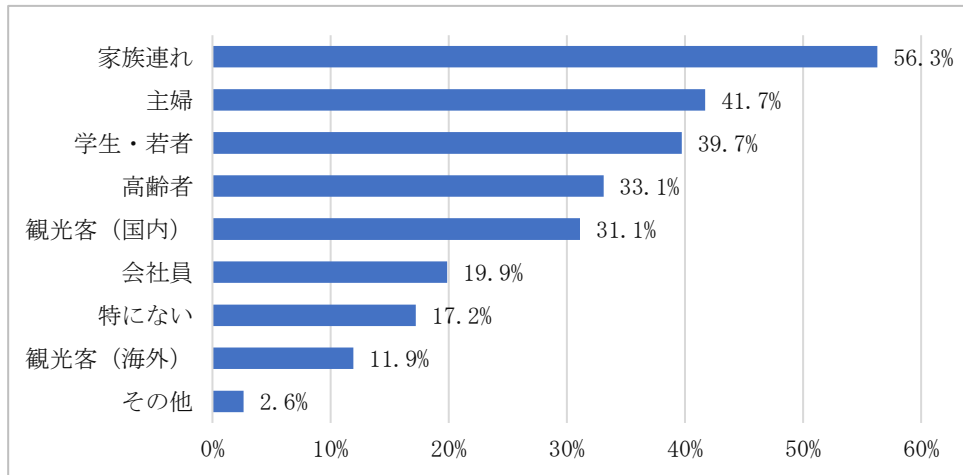
(1) 客層（複数回答） [回答数：157]



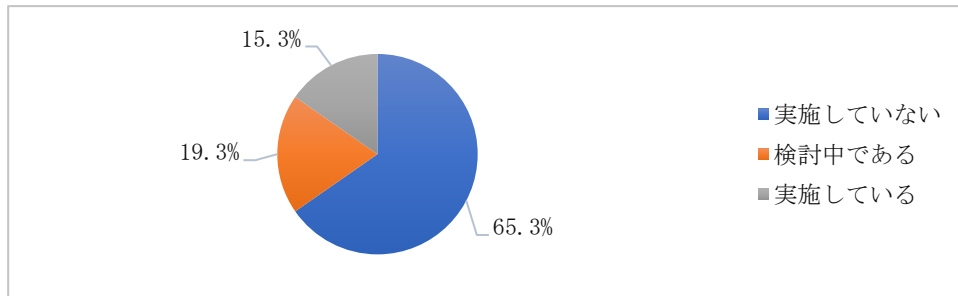
(2) 来街者のうち、最も多い客層 [回答数：157]



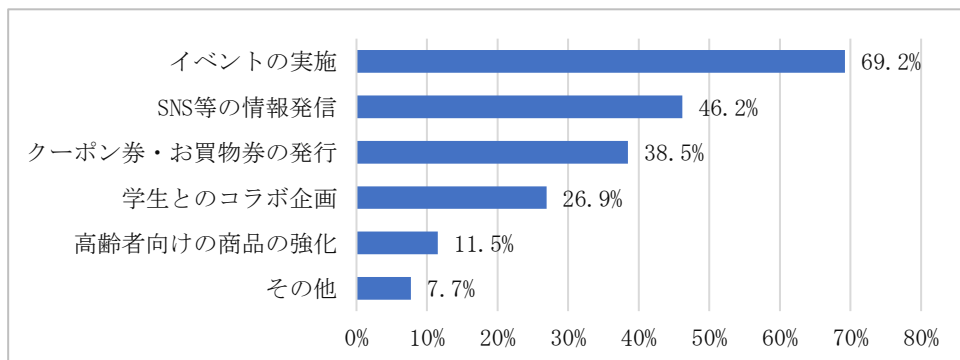
(3) 商店街として、呼び込みたい客層（複数回答） [回答数：151]



(4) (3) で選択した層を獲得するための取組 [回答数：150]

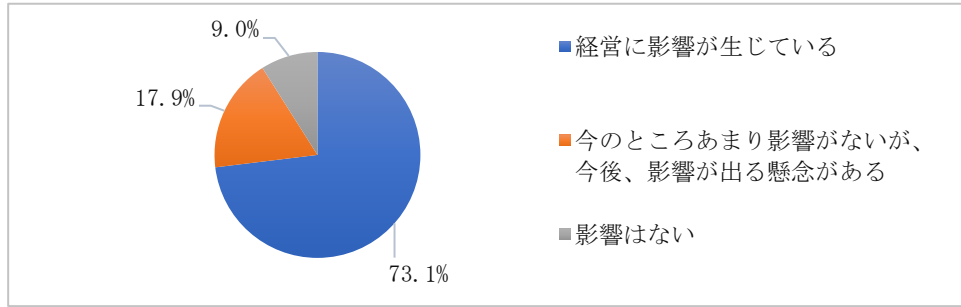


(5) (4) で「実施している」又は「検討中である」を選択した団体の、具体的な取組内容（複数回答） [回答数：52]

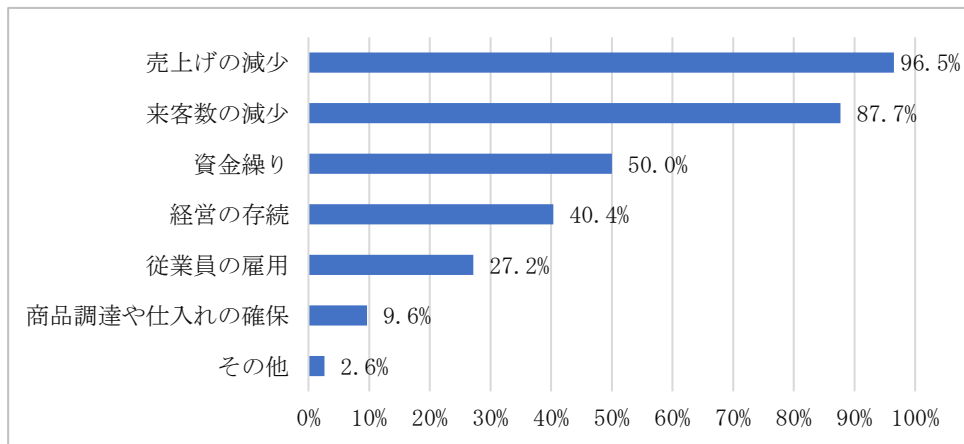


8-3 新型コロナウイルスの感染拡大による影響

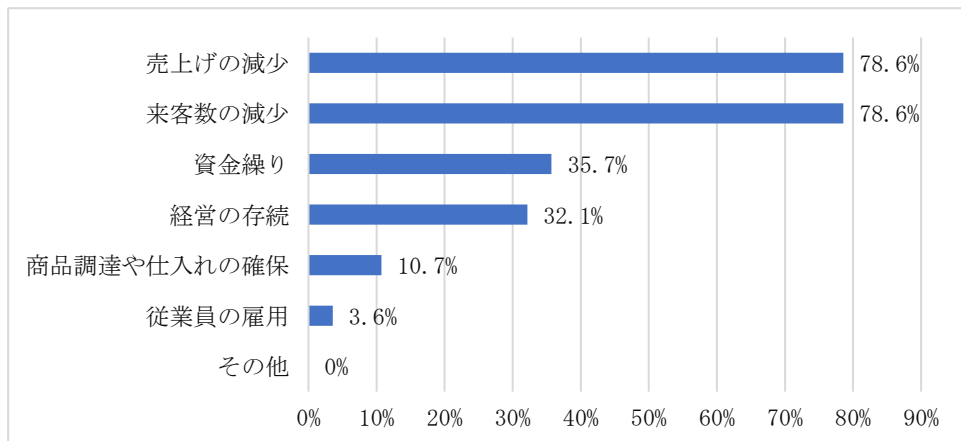
(1) 商店街に与えた影響 [回答数：156]



(2) (1) で「経営に影響が生じている」を選択した回答者に対する設問
生じている影響（複数回答） [回答数：114]

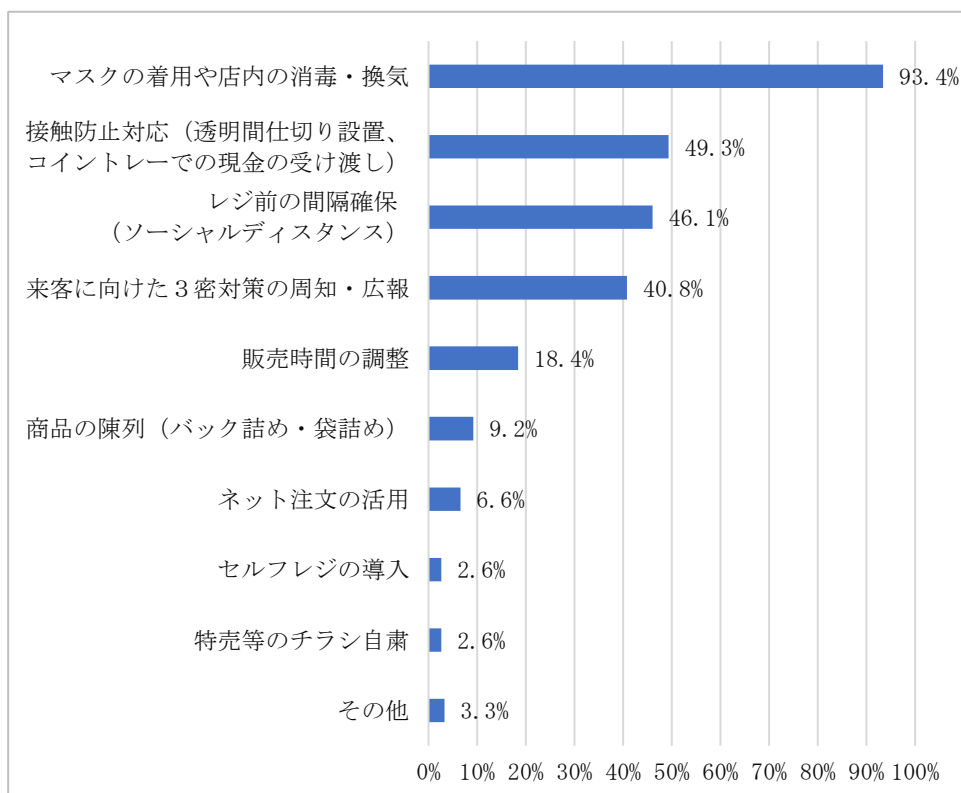


(3) (1) で「今のところあまり影響がないが、今後、影響が出る懸念がある」
を選択した回答者に対する設問
今後想定される影響（複数回答） [回答数：28]

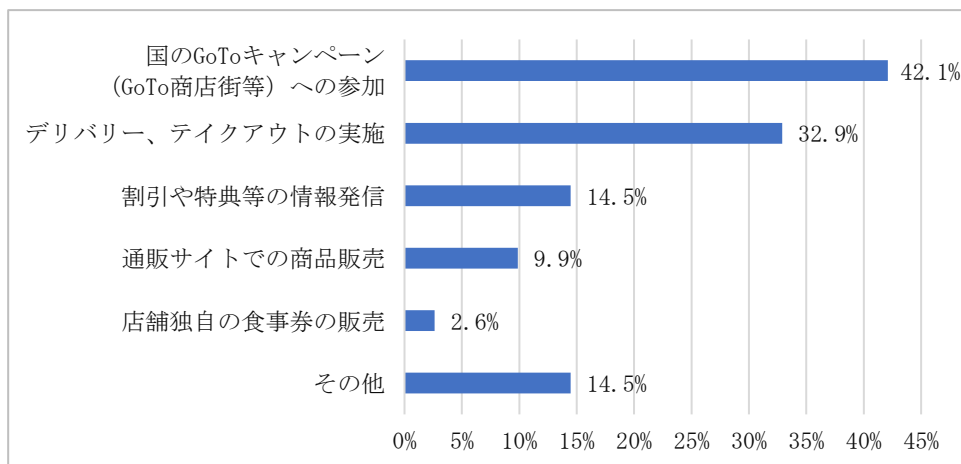


8-4 新型コロナウイルス対策として実施している取組

(1) 「3密」対策（混雑緩和、感染予防等）として取り組んでいるもの
（複数回答） [回答数：152]

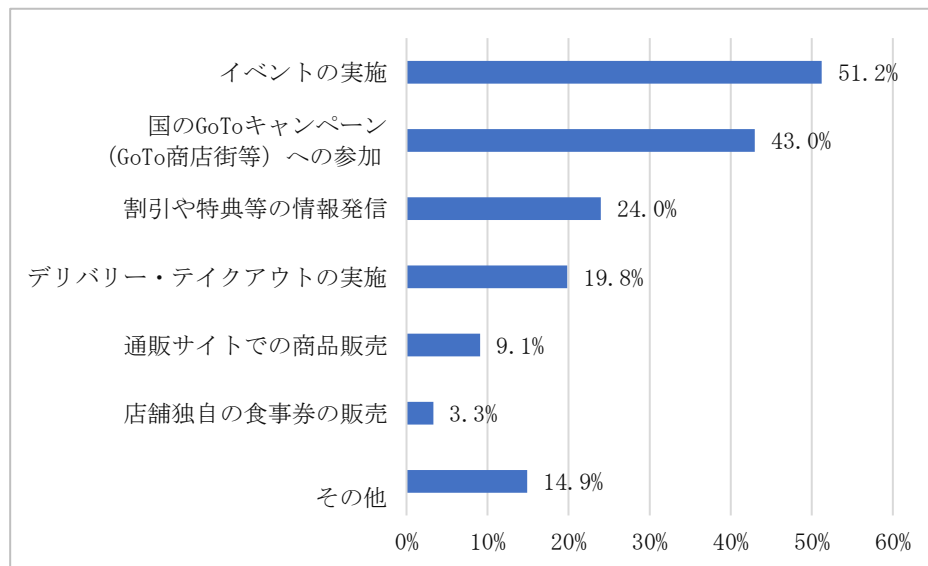


(2) 売上対策として取り組んでいるもの（複数回答） [回答数：74]



8-5 集客や売上拡大のために実施したい取組

現時点で、商店街で集客や売上げ拡大のために新しく取り組みたいもの（複数回答）〔回答数：121〕



令和2年度静岡県商店街実態調査票

1.		
2.	16	
3.		
4.		12
14		
5.		
[]	
[]	
shizuoka-shoutengai@landbrain.co.jp		
460-0003	3-4-6	3F
TEL 0120-983-409 / FAX 052-950-2321		

必ず御記入ください。

_ Ñ/αFp j&à	
_ Ñ/α » d Fp d ~ ...	FÈ
_ Ñ/αFp0¿'g i ‡	Â G%± GG% Û ôG% °B G FçFβFÿ0Y : °H
7Á0ð\$ •	
0° ²2 ð*...	(¶ i) (z*È) 1#. !6xG% æ/²* ... 2.z (3. » •6x 4.FiFp Ú()

